

能力開発 セミナーガイド

2025.4 ▶ 2026.3

新たな技術と知識を手に入れよう



働くスキルを高めよう!!

ポリテクセンター京都

▼機械系

機械設計・製図
溶接加工
機械加工
NC加工
測定
油空圧

機械保全
材料利用
手仕上げ
工具研削
生産管理

▼電気・電子系

電子回路技術
マイコン制御
シーケンス制御
電気設備
電気保全

京都職業能力開発短期大学校

機械設計・機械製図
測定
材料利用
汎用機械加工
NC機械加工

生産管理
メカトロニクス設計
ソフトウェア設計
マイコン制御
電子回路技術

シーケンス制御
電気設備工事
通信設備技術



ハロートレーニング

—— 急がば学べ ——

- Webによるセミナーのご案内
- オーダーメイドセミナーのご案内
- 施設利用のご案内
- 離職者訓練生採用のお願い
- 生産性向上支援訓練のご案内

らしく、はたらく、
ともに



ポリテクセンターとは

ポリテクセンターは、在職者の方がスキルアップするためのセミナーの実施及び、求職者の方が新たな技能・技術を身に付けて就職に役立つ訓練を実施している厚生労働省所管の職業訓練施設です。

ポリテクセンターは全国に設置され、京都府には長岡京市にポリテクセンター京都があります。

また舞鶴市には、在職者の方を対象としたセミナーの実施と併せて、高卒者等を対象とした学卒者訓練を実施する京都職業能力開発短期大学校があります。

施設の案内について⇒詳しくは裏表紙をご覧ください。

企業の生産現場で働く在職者が抱える課題解決のため、生産性の向上や業務の改善、技能の伝承、新たな製品の開発等に必要な専門的知識及び技能・技術を習得する訓練をご提供いたします。従業員の人材育成にポリテクセンター京都、京都職業能力開発短期大学校の能力開発セミナーをぜひご活用ください。

人材育成の応援を！！

ポリテクセンター京都、京都職業能力開発短期大学校ではものづくりに関する各種訓練を実施し、事業主の皆様が行っている「人材育成」を応援するために以下のことを行っています。

1. 【能力開発セミナー】ものづくりに携わる企業の課題解決、スキルアップに向けた訓練
2. 【生産性向上支援訓練】生産性・業務プロセスの改善などに係る課題解決のための訓練
3. 【指導員派遣・施設設備貸与】職業訓練指導員の派遣や施設設備の貸与
4. 【事業主推薦制度】社員の技術力向上、将来の現場責任者となるような人材の育成等を目的とした訓練

【1】能力開発セミナー

能力開発セミナーは、事業主等の皆様が従業員に対して効果的に教育訓練を行えるように「ものづくり分野」に関わる課題解決、スキルアップに向けた訓練を設定しています。

訓練期間は2～4日程度で地域の企業、事業主団体のニーズを基に、機械設計・製図、溶接加工、機械加工、電子回路技術、マイコン制御、シーケンス制御、電気設備、生産管理等の分野での訓練コースをご提供いたします。

コース及び日程について⇒詳しくは3～8ページをご覧ください。

また効果的に能力開発セミナーを受講して頂くために受講マップも用意しています。

受講マップについて⇒詳しくは13～16、46～47ページをご覧ください。

「セミナーガイドに載っているが日程が合わない」「コース内容をもう少し自社に合せて実施してほしい」などのお悩みがありましたら、オーダーメイドセミナーとして実施することも可能です。

オーダーメイドセミナーについて⇒61ページをご覧ください。

【2】生産性向上支援訓練

生産性向上支援訓練は、企業の生産性向上に必要な生産管理、DXの推進、組織マネジメント、マーケティング、データ活用等に関する知識やスキルを習得するための訓練です。目的別に、「生産・業務プロセスの改善」「横断的課題」「売上げ増加」「IT業務改善」の4つの分野の訓練を実施しています。企業が抱える課題やニーズに合わせてオーダーコースも実施可能です。

生産性向上支援訓練について⇒詳しくは65ページをご覧ください。

【3】指導員派遣・施設設備貸与

(1) 指導員派遣

事業主団体等の方々が「研修を実施したいが指導する講師がない」等の理由により社員研修が行えない場合には、指導員を派遣しております。実施できる研修内容や日程などにつきましては、お問い合わせください。

(2) 施設設備貸与

「研修を行いたい場所等がない」という事業主団体等の方々向けに研修・訓練会場として、施設設備（教室等）をご利用いただけます。

施設を利用するにあたっては、いくつか注意事項がございます。

施設の利用について⇒詳しくは 62 ページをご覧ください。

【4】事業主推薦制度

若手社員にもものづくりの基礎から学ばせて技術力を向上させたい、各部門の架け橋となる人事を育成したい、将来の現場責任者を育成したい等のご要望に対しまして、京都職業能力開発短期大学校では、社員の方を2年間受入れ、人材育成に向けた支援を行っています。

利用者の声

事業主

実践機械製図（公差・部品図編）

・図面の作成ができる社員を増やすことにつながった。

油圧実践技術

・油圧回路設計に必要な知識を実物の動きを確認しながら得ることができた。
また、図面上では分からない構造も分かり、スキルアップにつながった。

生産プロセス改善のための統計解析

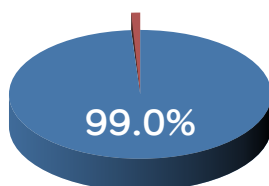
・生産トレーサビリティデータの分析で現状監視や把握が可能となると感じている。

TIG 溶接技能クリニック

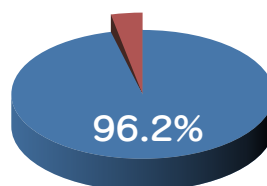
・溶接の選択肢が広がり、精度の高い製品ができるようになった。

能力開発セミナー満足度

セミナーをご利用いただきました皆様より、「大変役に立った」「役に立った」とのお声をいただいています。



受講者満足度



事業主満足度

令和5年度

事業主数：182社

受講者数：1,243人

ポリテクセンター京都調べ

CONTENTS

■ お申し込み方法と受講のご案内	1
■ 分野別コース一覧	全コースの実施時期を一目で確認できます
● ポリテクセンター京都主催 コース一覧	3
● 京都職業能力開発短期大学校主催 コース一覧	7
■ Web によるセミナー最新情報のご案内	追加コースのご案内
	9

ポリテクセンター京都	10
● 施設紹介	11
● 機械系コース受講マップ	13
● 電気・電子系コース受講マップ	15
● コース内容詳細	
▶ 機械系	カリキュラムなどの詳細
機械設計・製図	17
溶接加工	22
機械加工	23
NC 加工	26
測定	28
油空圧	29
機械保全	30
材料利用	30
手仕上げ	31
工具研削	31
生産管理	32
▶ 電気・電子系	カリキュラムなどの詳細
電子回路技術	35
マイコン制御	37
シーケンス制御	38
電気設備	41
電気保全	42

京都職業能力開発短期大学校	43
● 施設紹介	44
● コース受講マップ	46
● コース内容詳細 カリキュラムなどの詳細	
機械設計・機械製図	48
測定	49
材料利用	50
汎用機械加工	50
NC機械加工	51
生産管理	52
メカトロニクス設計	53
ソフトウェア設計	54
マイコン制御	54
電子回路技術	56
シーケンス制御	56
電気設備工事	58
通信設備技術	59
■ オーダーメイドセミナーのご案内	61
■ 施設利用のご案内	62
■ 離職者訓練受講生採用のお願い	63
■ 企業説明会のご案内 インターンシップ(企業実習)の受入れ先の募集について…	64
■ 生産性向上支援訓練のご案内	65
■ 人材開発支援助成金のご案内	66
■ よくあるご質問と回答	68
■ 受講申込書 お申し込みはこちらから	
■ 受講者変更・キャンセル届 変更やキャンセルはこちらから	
■ お問い合わせ・交通機関のご案内	

- SolidWorks、SolidWorks Simulation は、Dassault Systèmes SolidWorks Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。
- AutoCAD は、Autodesk, Inc. の米国及びその他の国における登録商標です。
- その他、本文中に記載されている会社名、製品名は、一般に各メーカーの登録商標または商標です。
- なお、本文中にはTM、®のマークは明記しておりません。

セミナー 実施時間	セミナー実施時間	9 : 15 ~ 16 : 00 (一部のコースを除く)
	お昼休み	12 : 30 ~ 13 : 15 (ポリテクセンター京都)
		12 : 15 ~ 13 : 00 (京都職業能力開発短期大学校)

一部のコースにつきましては、近隣の施設（ポリテクセンター滋賀、関西等）でも実施しています。キャンセル待ち、日程が合わない等の場合には、他施設の能力開発セミナーもご検討ください。なお、他施設が実施する能力開発セミナーの内容等につきましては、実施するポリテクセンターのHPをご確認ください。

お申し込み方法と受講のご案内

① 受講申し込み（原則 4 週間前まで）

巻末の受講申込書に必要事項をご記入いただき、FAX または郵送にてお送りください。お送りいただいた後、お電話にて受信確認いただきますようお願いいたします。

※各コースとも受講申し込みされた順に定員まで受付ますので、すみやかにお申し込みください。お申し込み数が定員に達した場合、「キャンセル待ち」となります。

※受付締切：原則として、開講日 4 週間前の月曜日（締切後のお申し込みについては、各施設にお問い合わせください）

ただし、年末年始やお盆等を挟む場合、これより 1 週間ほど早くなります。

※氏名等必要事項が未記載や不鮮明な場合受付できない場合があります。

また、同じコース内容で別日程のコースへ同じ氏名での申し込みも受付できません。

② 受付完了の確認

お申し込み後、受講の可否を郵送でお知らせします。

お申し込みから約 2・3 日後に、「受講決定通知書」または「キャンセル待ち通知書」をお送りしますのでご確認ください。

※「キャンセル待ち」について：キャンセルが発生した場合のみ、お電話にてご連絡いたします。

※下記の方の受講申し込みをお断りすることがあります。

○頻繁にキャンセルを繰り返し、他の受講者の申し込みに影響が出た場合。

○キャンセルの連絡をいただけない方。

○セミナーの受講に対し指導員や施設の指示に従えない方。

③ 受講案内・受講票・請求書の受理（4 週間前）

開講日の約 4 週間前に、簡易書留で受講案内をお送りいたします。受講案内には、受講票・請求書等を同封しています。（開始の 21 日前までにお手元に届かない場合はお手数ですが、実施施設までご連絡ください。）

なお、開講日の 4 週間前の時点で申込者数が定員の 5 割に満たなかった場合、コースの日程を変更または中止する場合があります。

④ 受講料のお振込み（14 日前まで）

開講日の 14 日前までに、受講料をお振込みください。

※受講料には消費税が含まれています。

※振込手数料はお客様でご負担ください。

⑤ 受講のキャンセル（14日前まで）

開講日の14日前（土・日・祝日含む）までに70ページのキャンセル届に記入の上でFAX又は郵送にてお送りください。またお送りいただいた後お電話にて受理確認をいただくようお願いいたします。14日前を過ぎてからのキャンセルは、受講料を全額ご負担いただきます。

※当センターの都合によりやむを得ず中止した場合は、別途ご連絡の上、受講料を全額返金いたします。

※受講料のお振込み後、開講日の14日前までのキャンセルについては、受講料を返金いたします。

⑥ 受講者の変更（7日前まで）

同一の企業の方であれば、お申し込みいただいたコースの受講者を変更することができます。70ページの受講者変更届に必要事項をご記入の上、実施施設へFAX又は郵送にてご連絡ください。

なお、受講コースの変更及び同じ内容のコースでも受講日の変更はできません。

⑦ 受講当日

ポリテクセンター京都

本館玄関掲示板で会場をご確認の上、会場にお入りください。

開場時間はセミナーが始まる30分前です。

※受講票に記載されている会場から変更されている場合があります。

京都職業能力開発短期大学校

受講票に記載されている会場へ直接お越しください。

開場時間はセミナーが始まる30分前です。

受講後のお願い

当機構では訓練受講後に受講生とその企業様へアンケート調査を行っています。アンケートは含まれる個人情報適切に管理する中で、能力開発セミナーの事業評価及びパンフレット、ホームページの受講者の声等に利用させていただきます。ご協力をお願いいたします。

ポリテクセンター京都主催 コース一覧

会場	分野	コース名	頁	日数	訓練時間	定員	受講料
ポリテクセンター京都 (長岡京市)	機械設計・製図	実践機械製図 (公差・部品図編)	17	4日間	24時間	10名	17,000円
		機械設計製図実践 (機械要素編)	17	3日間	18時間	10名	14,000円
		機械設備設計のための総合力学	17	3日間	18時間	12名	28,000円
		治具設計の勘どころ	18	2日間	12時間	10名	24,000円
		自動機械設計のための要素選定技術	18	2日間	14時間	10名	26,000円
		2次元CADによる機械製図技術【AutoCAD】	18	3日間	21時間	10名	16,500円
		設計に活かす3次元CADソリッドモデリング技術 (部品設計編)【SolidWorks】	19	4日間	24時間	10名	21,500円
		設計に活かす3次元CADアセンブリ技術 (構想・組立編)【SolidWorks】	19	3日間	18時間	10名	17,500円
		有限要素法理論理解のための材料力学から有限要素法への展開	20	2日間	12時間	10名	16,500円
		設計者CAEを活用した構造解析【SolidWorks Simulation】	20	2日間	12時間	10名	13,500円
		手戻りを減らす構想設計技術	21	4日間	24時間	10名	27,000円
		設計・施工管理に活かす溶接技術	21	2日間	12時間	8名	14,000円
		溶接加工	半自動アーク溶接技能クリニック	22	2日間	12時間	8名
	TIG溶接技能クリニック		22	2日間	12時間	8名	17,000円
	被覆アーク溶接技能クリニック		22	2日間	12時間	8名	17,000円
	抵抗スポット溶接実践技術 NEW		23	2日間	12時間	8名	14,000円
	機械加工	旋盤加工技術 (外内径&テーパ加工編)	23	4日間	24時間	8名	25,000円
		旋盤によるねじ切り加工技術	23	3日間	18時間	8名	24,000円
		旋盤加工応用技術	24	4日間	24時間	8名	25,000円
		旋盤加工技術 (技能エキスパート編)	24	3日間	18時間	8名	18,000円
		旋削加工の理論と実際	24	2日間	12時間	8名	15,000円
		フライス盤加工技術 (溝加工編)	25	4日間	24時間	7名	26,000円
		フライス盤加工技術 (技能エキスパート編)	25	3日間	18時間	7名	22,500円
	NC加工	NC旋盤プログラミング技術	26	4日間	24時間	10名	18,000円
		NC旋盤加工技術	26	3日間	18時間	10名	17,000円
		マシニングセンタプログラミング技術	27	4日間	24時間	10名	18,000円
		マシニングセンタ加工技術	27	3日間	18時間	10名	17,000円
	測定	精密測定技術 (長さ測定編)	28	2日間	12時間	10名	10,000円
		精密測定技術 (技能エキスパート編)	28	2日間	12時間	10名	12,000円
	油空圧	空気圧実践技術	29	3日間	18時間	8名	17,000円
油圧実践技術		29	3日間	18時間	8名	19,000円	
油圧システムの保全技術		29	3日間	18時間	8名	19,000円	

※上段にはコース番号、下段には日付を記載しております。
 セミナー内容や空き状況のお問い合わせは、各会場へご連絡いただきますようお願いいたします。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	P0011 20~23	P0012 10~13			P0013 9~12						
			P0021 29~31								
							P0031 5~7				
						P0041 9,10					
						P0051 7,8					
	P0061 14~16		P0062 23~25			P0063 15~17					
	P0071 13~16	P0072 17~20		P0073 19~22	P0074 30~10/3		P0075 18~21				
		P0081 24~26						P0082 3~5			
							P0091 13,14				
								P0101 11,12			
				P0111 26~29							
					P0511 3,4						
				P0521 27,28						P0522 4,5	
			P0531 7,8						P0532 14,15		
			P0541 17,18								
		P0551 6/25(オンライン),7/1(集合実習)									
P0161 7~10					P0162 1~4	P0163 27~30					P0164 2~5
						P0171 14~16					
		P0181 23~26									
			P0191 1~3								
						P0201 8,9					
		P0211 9~12			P0212 29~10/2						
		P0221 17~19									
			P0241 15~18								
			P0251 23~25								
							P0261 4~7				
							P0271 12~14				
	P0281 14,15			P0282 6,7							
								P0291 10,11			
		P0301 18~20									
		P0311 11~13			P0312 17~19						
						P0321 21~23					

会場はポリテクセンター京都です
 (TEL:075-951-7398)

会場は京都職業能力開発短期大学校です
 (TEL:0773-75-4341)

ポリテクセンター京都主催 コース一覧

会場	分野	コース名	頁	日数	訓練時間	定員	受講料
ポリテクセンター京都 (長岡京市)	機械保全	生産現場の機械保全技術 (伝動要素編)	30	2日間	12時間	6名	15,000円
	材料利用	鉄鋼材料の材料特性と活用技術	30	2日間	12時間	8名	13,000円
		鉄鋼材料の熱処理技術 (材料の選定と熱処理法)	31	3日間	18時間	8名	18,000円
	手仕上げ	機械組立仕上げのテクニック (やすり・きさげ仕上げ)	31	4日間	24時間	8名	22,000円
	工具研削	工具研削実践技術 (ドリル研削編)	31	3日間	18時間	8名	18,000円
	生産管理	現場を動かす論理的思考力 (ロジカルシンキング) の育成	32	2日間	12時間	10名	11,000円
		生産プロセス改善のための統計解析 (ビッグデータに備え、多様なデータを活用し、意思決定に役立てる力を身につけよう)	32	2日間	12時間	10名	12,000円
		製造現場における工程管理技法と改善	33	2日間	12時間	10名 (最大15名)	14,000円
		生産現場に活かす品質管理技法	33	2日間	12時間	10名 (最大15名)	14,000円
		5Sによるムダ取り・改善の進め方	33	2日間	12時間	10名 (最大15名)	14,000円
		製造現場におけるヒューマンエラー対策と実践的技法	34	2日間	12時間	10名 (最大15名)	14,000円
		生産現場で活用するリーダーシップ手法	34	2日間	12時間	10名 (最大15名)	14,000円
	電子回路技術	トランジスタ回路の設計と評価の実践技術	35	2日間	12時間	10名	12,000円
		オペアンプ回路の設計・評価技術	35	2日間	12時間	10名	12,000円
		FET回路の設計・評価技術	35	2日間	12時間	10名	12,000円
		デジタル回路設計技術	36	2日間	12時間	10名	12,000円
		HDLによる回路設計技術	36	2日間	12時間	10名	10,000円
		基板製作に係る鉛フリーはんだ付け技術	36	2日間	12時間	10名	13,000円
	マイコン制御	組込み技術者のためのプログラミング (C言語編)	37	2日間	12時間	10名	10,000円
		マイコン制御システム開発技術 (PIC編)	37	2日間	12時間	10名	10,000円
		マイコン制御システム開発技術 (RXマイコン編)	38	3日間	18時間	10名	13,000円
	シーケンス制御	有接点シーケンス制御の実践技術	38	2日間	12時間	10名	12,000円
		シーケンス制御による電動機制御技術	39	2日間	12時間	10名	12,000円
		制御盤製作技術 (配線設計編)	39	3日間	18時間	6名	20,000円
		PLCによる自動化制御技術	40	3日間	18時間	10名	15,000円
		PLC制御の応用技術 (数値処理編)	40	2日間	12時間	10名	12,000円
		PLCによる位置決め制御技術	41	2日間	12時間	10名	10,000円
電気設備	低圧電気設備の保守点検技術 NEW	41	2日間	12時間	10名	12,000円	
	自家用電気工作物の高圧機器技術 NEW	42	2日間	12時間	10名	12,000円	
電気保全	電気系保全実践技術	42	3日間	18時間	10名	15,000円	

※上段にはコース番号、下段には日付を記載しております。

セミナー内容や空き状況のお問い合わせは、各会場へご連絡いただきますようお願いいたします。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
			P0331 9,10								
		P0341 17,18									
			P0361 1~4					P0351 17~19			
							P0371 11~13				
					P0411 25,26						
		P0421 9,10									
		P0431 26,27									
								P0441 11,12			
	P0451 29,30				P0452 4,5		P0453 13,14				
	P0461 15,16			P0462 21,22			P0463 20,21				
		P0471 12,13				P0472 2,3				P0473 26,27	
		P2011 11,12								P2012 4,5	
		P2021 25,26								P2022 18,19	
		P2031 18,19				P2032 8,9					
			P2041 9,10								
			P2051 16,17								
					P2061 3,4		P2062 19,20				
			P2071 23,24								
							P2081 26,27				
					P2091 9~11						
P2101 12,13	P2102 7,8	P2103 3,4	P2104 15,16			P2105 28,29		P2106 16,17			
		P2111 10,11	P2112 23,24				P2113 5,6			P2114 3,4	
				P2121 19~21					P2122 20~22		
		P2131 17~19			P2132 2~4		P2133 25~27				
						P2141 21,22				P2142 25,26	
						P2151 15,16					
			P2161 9,10								
				P2171 26,27							
								P2181 3~5			

会場はポリテクセンター京都です
(TEL:075-951-7398)

会場は京都職業能力開発短期大学校です
(TEL:0773-75-4341)

京都職業能力開発短期大学校主催 コース一覧

会場	分野	コース名	頁	日数	訓練時間	定員	受講料
京都職業能力開発短期大学校 (舞鶴市)	機械設計・機械製図	実践機械製図 (公差・部品図編)	48	4日間	24時間	10名	15,500円
		実践機械製図 (機械要素編)	48	3日間	18時間	10名	12,000円
		2次元 CAD による機械製図技術	48	3日間	21時間	10名	16,500円
		設計に活かす 3次元 CAD ソリッドモデリング技術	49	4日間	24時間	10名	21,500円
		設計に活かす 3次元 CAD アセンブリ技術	49	3日間	18時間	10名	17,500円
	測定	精密測定技術 NEW	49	2日間	12時間	10名	8,000円
		ひずみゲージによる応力計測技術 NEW	50	3日間	18時間	10名	13,500円
	材料利用	鉄鋼材料の熱処理技術 NEW	50	2日間	12時間	10名	10,000円
	汎用機械加工	旋盤加工技術	50	3日間	18時間	10名	13,000円
		フライス盤加工技術	51	3日間	18時間	5名	25,000円
	NC 機械加工	NC 旋盤プログラミング技術	51	2日間	12時間	10名	9,500円
		NC 旋盤加工技術	51	2日間	12時間	10名	9,500円
		マシニングセンタプログラミング技術	52	2日間	12時間	10名	9,500円
		マシニングセンタ加工技術	52	2日間	12時間	10名	9,500円
	生産管理	生産現場に活かす品質管理技法 NEW	52	2日間	12時間	10名	8,000円
	ロボメカニクス設計	産業用ロボット活用技術	53	2日間	12時間	10名	8,000円
		ロボットシミュレーション活用技術	53	2日間	12時間	10名	8,000円
	ソフトウェア設計	タブレット端末向けクラウド対応システム構築技術 NEW	54	2日間	12時間	10名	16,000円
		軽量 Ruby による組込みシステム開発技術	54	2日間	12時間	10名	8,000円
	マイコン制御	組込み技術者のためのプログラミング (I/O 制御編)	54	2日間	12時間	10名	8,000円
		組込み技術者のためのプログラミング (Arduino 編)	55	2日間	12時間	10名	8,000円
		組込み技術者のためのプログラミング (Python 編)	55	2日間	12時間	10名	9,500円
		組込み技術者のためのプログラミング (周辺制御編)	55	2日間	12時間	10名	8,000円
		マイコン制御システム開発技術 (Arduino 編)	56	2日間	12時間	10名	11,500円
	電子回路技術	基板製作に係る鉛フリーはんだ付け技術 NEW	56	2日間	12時間	10名	13,000円
	シーケンス制御	有接点シーケンス制御の実践技術	56	2日間	12時間	10名	8,000円
		電動機のインバータ活用技術	57	2日間	12時間	10名	8,000円
		PLC プログラミング技術 (入出力命令編)	57	2日間	12時間	10名	8,000円
		PLC 制御の応用技術 (数値処理命令編)	57	2日間	12時間	10名	8,000円
		PLC によるタッチパネル活用技術	58	2日間	12時間	10名	8,000円
	電気設備工事	一般用電気工作物の施工技術 (設計編)	58	2日間	12時間	10名	9,500円
		一般用電気工作物の施工技術 (施工編)	58	3日間	18時間	10名	23,000円
自家用電気工作物の施工技術 NEW		59	6日間	18時間	10名	24,000円	
CAD による電気設備の設計技術 (Jw_cad 編) NEW		59	2日間	12時間	10名	8,000円	
通信設備技術	LAN 構築施工・評価技術	59	2日間	12時間	10名	14,000円	
	無線 LAN を用いたデータ伝送技術	60	2日間	12時間	10名	8,000円	
	製造現場における LAN 活用技術	60	2日間	12時間	10名	11,000円	
	製造現場における LAN 活用技術 (TCP/IP 編) NEW	60	2日間	12時間	10名	11,000円	

※上段にはコース番号、下段には日付を記載しております。
 セミナー内容や空き状況のお問い合わせは、各会場へご連絡いただきますようお願いいたします。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		C0011 3~6									
			C0021 2~4								
		C0031 24~26									
	C0041 27~30										
											C0051 11~13
C0061 17,18											
				C0071 6~8							
							C0081 5,6				
			C0091 9~11								
				C0101 5~7							
			C0111 22,23								
			C0121 24,25								
							C0131 21,22				
							C0141 23,24				
				C0151 4,5							
							C0161 12,13				
								C0171 10,11			
				C3011 2,3							
											C3021 21,22
									C3031 29,30		C3032 9,10
				C3041 4,5							
			C3051 7/31,8/1								
											C3061 26,27
					C3071 24,25						
											C3081 12, 13
	C3091 15,16										
			C3101 28,29								
							C3111 4,5				
							C3121 11,12				
							C3131 18,19				
	C3141 8,9					C3142 2,3					
			C3151 2~4				C3152 26~28				
		C3161 17~19, 24~26									
				C3171 5,6							
				C3181 7,8							
			C3191 7/31,8/1								
					C3201 24,25						
											C3211 11,12

会場はポリテクセンター京都です
 (TEL:075-951-7398)

会場は京都職業能力開発短期大学校です
 (TEL:0773-75-4341)

Webによるセミナー最新情報のご案内

ポリテクセンター京都及び京都職業能力開発短期大学のホームページでは、能力開発セミナーの最新情報について掲載しています。是非ご利用ください。



追加コースのご案内は
こちらから



ポリテクセンター京都

検索 🔍

<https://www3.jeed.go.jp/kyoto/poly/>



京都職業能力開発短期大学校

検索 🔍

<https://www3.jeed.go.jp/kyoto/college/>



またセミナー受講に関するお問い合わせ、セミナーの内容に関する質問等については次のメールアドレスをご利用ください。



ポリテクセンター京都

kyoto-poly03@jeed.go.jp



京都職業能力開発短期大学校

kyoto-college02@jeed.go.jp

ポリテクセンター京都

〒 617-0843 京都府長岡京市友岡 1-2-1

TEL : 075-951-7398 (人材育成支援係) FAX : 075-951-7393

E-mail : kyoto-poly03@jeed.go.jp

●公共交通機関でお越しの場合

●阪急電車をご利用の方 (徒歩約 8 分)

「長岡天神」駅で下車。改札を出て右手の階段を下り、線路沿いの道を大阪方面へ。踏切を渡らずに直進し、スーパー・自動車教習所等を左手に見ながらさらに進む。道が大きく左に曲がる箇所、看板に従い右手前方の坂を上る。

●JR をご利用の方 (徒歩約 15 分)

「長岡京」駅で下車し、改札を出て右手へ。ロータリーからのびる道を長岡天満宮方面へ直進。阪急電車の踏切の直前で左折し、スーパー・自動車教習所等を左手に見ながらさらに進む。道が大きく左に曲がる箇所、看板に従い右手前方の坂を上る。

●お車でお越しの場合

●京都市内方面からのお越しの方

国道 171 号線「上植野交差点」を右折後 (1km)、「一文橋交差点」で左折し (2km)、「友岡交差点」を右折 (0.4km)

●大阪方面からのお越しの方

国道 171 号線「勝竜寺交差点」を左折後 (1.3km)、「調子八角交差点」で右折し (0.6km)、「友岡交差点」を左折 (0.4km)

●昼食について

昼食の弁当を注文される方は、本館 1 階事務室 (訓練課) に申込書が置いてありますので、午前 9 時 00 分までにご記入をお願いいたします。

弁当を注文された方には、訓練生ホールにて昼休みの時間に弁当を販売いたします。

※土・日・祝日は受付していません。

※お申込み後のキャンセルはできません。

●更衣室について

作業服着用を要するセミナーについては更衣室を用意していますので、本館 1 階事務室へお問い合わせください。なお、貴重品は各自で管理していただきますようお願いいたします。

●台風時等の対応について

台風時等におけるセミナーについては、原則実施することといたしますが、**午前 7 時の時点で京都府南部に特別警報が発令された場合はセミナーを中止とさせていただきます、中止した日のカリキュラムは、後日調整させていただきます。**

また、当センターの事情により、やむを得ずセミナーの日程を変更したり中止したりすることがありますので予めご了承ください。この場合は、電話等によりご連絡いたします。

施設紹介

ポリテクセンター京都では 17 ページから掲載している各種セミナーを開催するほか、事業主の皆様へのオーダーメイドセミナーや施設設備貸与を行っています。

オーダーメイドセミナーのご案内→ 61 ページ

施設利用のご案内→ 62 ページ



① A棟2階 (CAD室)



② A棟NC実習場



③ 本館2階 (教室)



④ F棟溶接実習場



⑤ F棟機械加工実習場 (フライス盤)



⑥ F棟機械加工実習場 (旋盤)



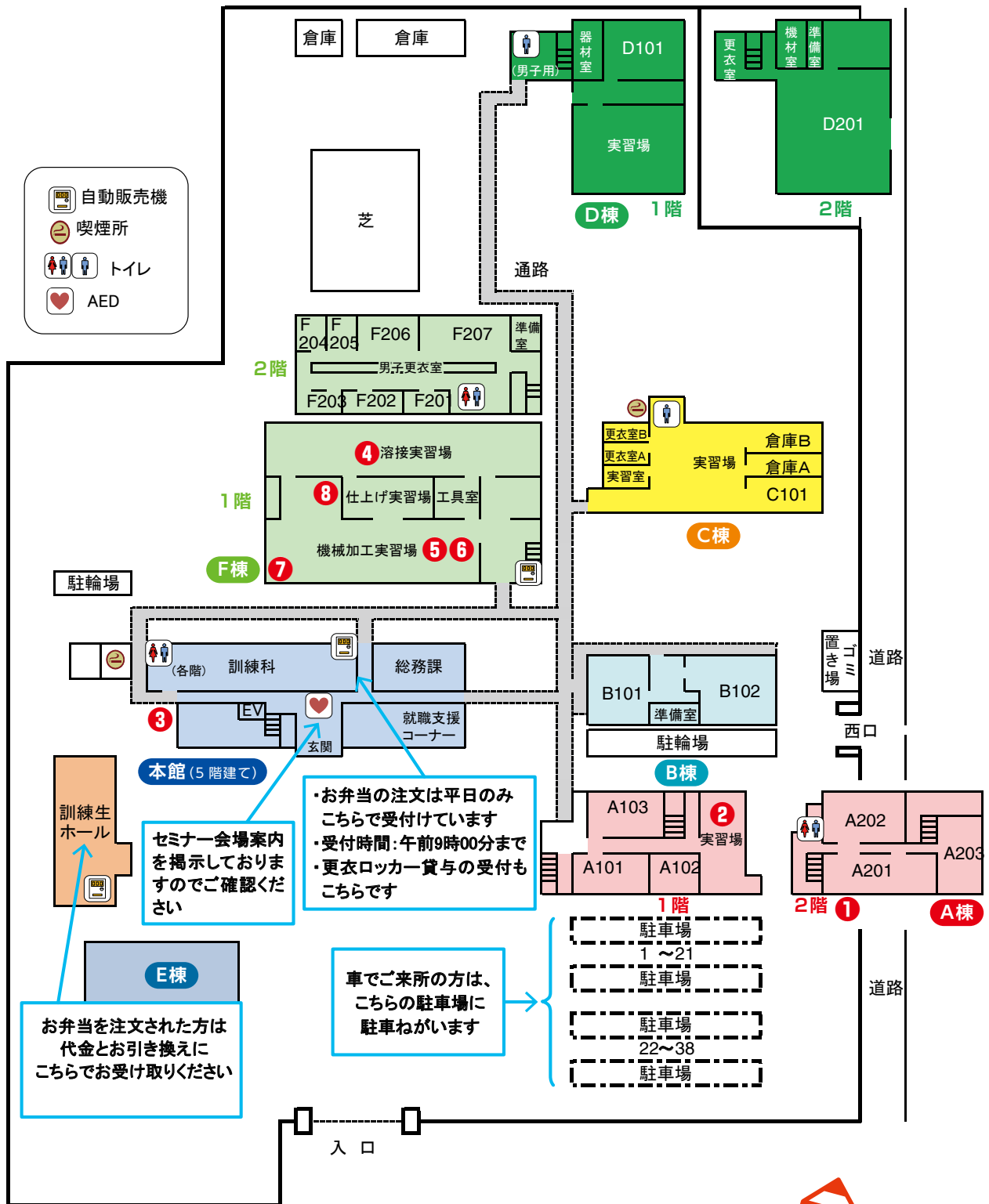
⑦ F棟機械加工実習場 (熱処理炉)



⑧ F棟機械加工実習場 (平面研削盤)



ハロテくん



機械系コース受講マップ

機械設計・製図

実践機械製図
(公差・部品図編)
→ 17 ページ

設計に活かす 3次元
CAD ソリッド
モデリング技術
(部品設計編)
【SolidWorks】
→ 19 ページ

有限要素法理論理解
のための材料力学か
ら有限要素法への展
開 → 20 ページ

2次元CADによる機械製図技術
<AutoCAD> → 18 ページ

機械設計製図実践 (機械要素編)
→ 17 ページ

手戻りを減らす構想設計技術
→ 21 ページ

設計に活かす 3次元 CAD アセンブリ技術 (構想・組立編) 【SolidWorks】
→ 19 ページ

設計者 C A E を活用した構造解析 【SolidWorks Simulation】
→ 20 ページ

設計・施工管理に活かす溶接技術
→ 21 ページ

機械設備設計のための総合力学
→ 17 ページ

自動機械設計のための要素選定
技術 → 18 ページ

治具設計の勘どころ
→ 18 ページ

溶接加工

半自動アーク溶接技能クリニック
→ 22 ページ

被覆アーク溶接技能クリニック
→ 22 ページ

T I G溶接技能クリニック
→ 22 ページ

抵抗スポット溶接実践技術
→ 23 ページ

機械加工

旋盤加工技術
(外内径&テーパ加工編)
→ 23 ページ

フライス盤加工技術
(溝加工編) → 25 ページ

旋盤によるねじ切り加工技術 → 23 ページ

旋盤加工応用技術 → 24 ページ

旋盤加工技術 (技能エキスパート編) → 24 ページ

旋削加工の理論と実際 → 24 ページ

フライス盤加工技術 (技能エキスパート編)
→ 25 ページ

NC加工

NC旋盤プログラミング技術
→ 26 ページ

マシニングセンタプログラミング技術
→ 27 ページ

NC旋盤加工技術
→ 26 ページ

マシニングセンタ加工技術
→ 27 ページ

測定

精密測定技術（長さ測定編）
→ 28 ページ



精密測定技術（技能エキスパート編）
→ 28 ページ

油空圧

空気圧実践技術
→ 29 ページ

油圧実践技術
→ 29 ページ



油圧システムの保全技術
→ 29 ページ

機械保全

生産現場の機械保全技術（伝動要素編）
→ 30 ページ

材料利用

鉄鋼材料の材料特性と活用技術
→ 30 ページ

鉄鋼材料の熱処理技術（材料の選定と熱処理法）
→ 31 ページ

手仕上げ

機械組立仕上げのテクニック（やすり・きさげ仕上げ）
→ 31 ページ

工具研削

工具研削実践技術（ドリル研削編）
→ 31 ページ

生産管理

現場改善力を高めたい

現場を動かす論理的思考力（ロジカルシンキング）の育成 → 32 ページ

生産プロセス改善のための統計解析
(ビッグデータに備え、多様なデータを活用し、意思決定に役立てる力を身につけよう)
→ 32 ページ

生産現場に活かす品質管理技法
→ 33 ページ

製造現場における工程管理技法と改善
→ 33 ページ

5S によるムダ取り・改善の進め方
→ 33 ページ

生産現場で活用するリーダーシップ手法
→ 34 ページ

製造現場におけるヒューマンエラー対策と実践的技法 → 34 ページ

電気・電子系コース受講マップ

アナログ回路の設計手法

トランジスタ回路の設計と評価の実践技術
➡ 35 ページ



オペアンプ回路の設計・評価技術
➡ 35 ページ

FET 回路の設計・評価技術
➡ 35 ページ

デジタル回路の設計手法

デジタル回路設計技術
➡ 36 ページ



HDL による回路設計技術
➡ 36 ページ

電子部品の実装技術

基板製作に係る鉛フリーはんだ付け技術
➡ 36 ページ

マイコンの開発言語の知識を高めたい

組込み技術者のためのプログラミング
(C 言語編)
➡ 37 ページ



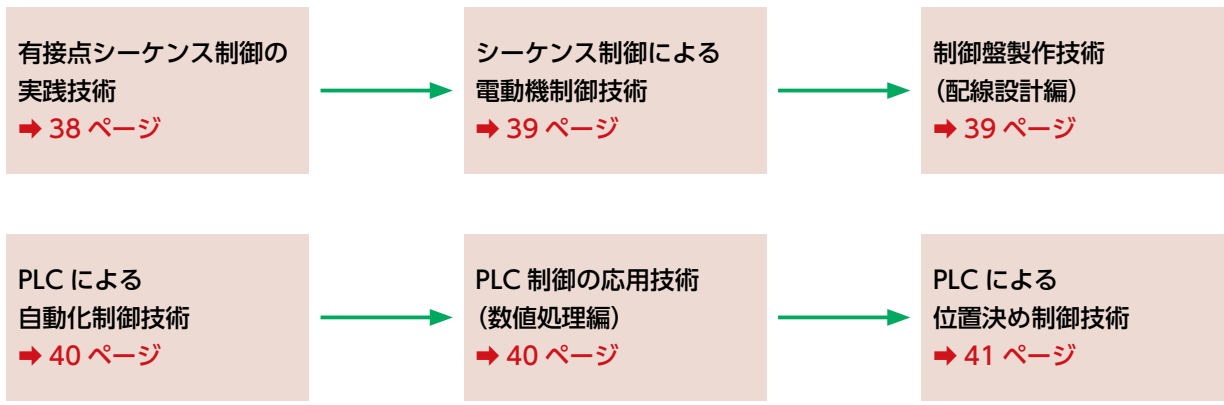
マイコン制御システム開発技術 (PIC 編)
➡ 38 ページ

マイコンの制御手法



マイコン制御システム開発技術 (RX マイコン編)
➡ 37 ページ

シーケンス制御



電気設備

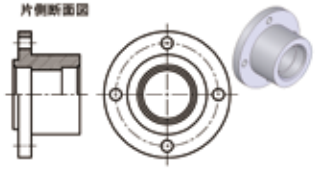


電気保全




機械設計
・製図

実践機械製図（公差・部品図編）

コース番号	日程および訓練時間		内容
P0011	5/20(火)~23(金)	9:15 ~16:00 (24時間)	機械設計者の設計意図を正しく図面に反映させるために必要となる機械製図規格（JISB0001）とその関連規格（寸法公差、幾何公差、表面性状）の内容を解説と演習を通じて習得します。（CAD は使いません） 1. 製図の概要 2. JIS に準じた部品（寸法記入、幾何公差、表面性状） 3. 加工を考慮した寸法記入 4. 課題演習
P0012	6/10(火)~13(金)		
P0013	9/9(火)~12(金)		
定員	10名	受講料	
使用機器	製図用具一式		
持参品	筆記用具		

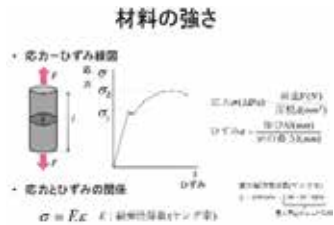
機械設計
・製図

機械設計製図実践（機械要素編）

コース番号	日程および訓練時間		内容	
P0021	7/29(火)~31(木)	9:15 ~16:00 (18時間)	機械要素の種類や用途。機械要素製図における図示法等、選定方法、強度計算、選定における注意点などの実践的な能力を習得します。（CAD は使いません） ※「機械設備設計のための総合力学」と一部重複している部分があります。 1. 機械製図上の注意事項 2. 機械要素設計製図（ねじ、軸、軸継手、軸受、歯車、Vプーリ、Vベルト） 3. 総合課題実習 ●対象者：「機械設計製図（公差・部品図編）」を受講された方もしくは、機械製図の基礎知識を有する方	
定員	10名	受講料		14,000円
使用機器	製図用具一式			
持参品	筆記用具、関数電卓（貸出可）			

機械設計
・製図

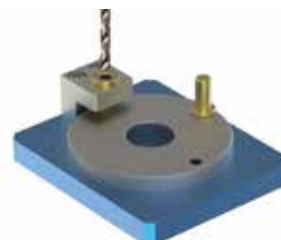
機械設備設計のための総合力学

コース番号	日程および訓練時間		内容	
P0031	11/5(水)~7(金)	9:15 ~16:00 (18時間)	機械設備を設計する場合、力学的に解析を行う必要があります。どのような力がどこに、どれくらいかかるのかを把握しないことには設計はできません。また、理論は理解できても実際に設計しようとするところから手を付けなければよいのか困惑する場合があります。機械設備設計に必要な力学的計算の知識やポイントを習得します。 1. 機械と力学 2. 機械の力学とは 3. 材料力学とは 4. メカニズム解説 5. 総合課題 ●対象者：これから設計に携わる方、または最近設計業務に携わっている方、改めて力学等を復習したい方	
定員	12名	受講料		28,000円
持参品	筆記用具、関数電卓（貸出可）			
備考	講師：牧野 雅和 （牧野機械設計事務所）（予定）			

機械設計
・製図

治具設計の勘どころ

コース番号	日程および訓練時間		内容
P0041	10/9(木),10(金)		治具設計では品質・納期・コストはもちろんですが、 ①如何に正確にワークの位置決めを行うか、 ②そのためにワークのどこをクランプするか、 ③クランプ力はいくらにするか、 ④治具扱いの作業性はどうか、 などを考慮する必要があります。 本コースでは治具設計における考え方を習得できます。
	9:15 ~16:00 (12時間)		
定員	10名	受講料	24,000円
使用機器	メカニカルモジュール		
持参品	筆記用具		
備考	講師:牧野 雅和 (牧野機械設計事務所)(予定)		



機械設計
・製図

自動機械設計のための要素選定技術

コース番号	日程および訓練時間		内容
P0051	10/7(火),8(水)		目的に応じた最適な自動機を設計するために、各種メカニズムの動作特性を解説します。また、アクチュエータ・コントローラ・センサの概略を知ることにより、どのように構成すれば良いかという考え方を習得できます。
	9:15 ~17:00 (14時間)		
定員	10名	受講料	26,000円
使用機器	メカニカルモジュール		
持参品	筆記用具、関数電卓(貸出可)		
備考	講師:牧野 雅和 (牧野機械設計事務所)(予定)		



機械設計
・製図

2次元 CAD による機械製図技術【AutoCAD】

コース番号	日程および訓練時間		内容
P0061	5/14(水)~16(金)		機械設計における2次元CADの活用による効率化と生産性の向上をめざして、製品企画から具体的加工の指示を出すための図面(設計製図、工程図等)の作図方法、CADを使用する場合の環境の構築、効果的かつ効率的な使用法を習得します。
P0062	7/23(水)~25(金)		
P0063	10/15(水)~17(金)		
定員	10名	受講料	16,500円
使用機器	AutoCAD2022 以降		
持参品	筆記用具		

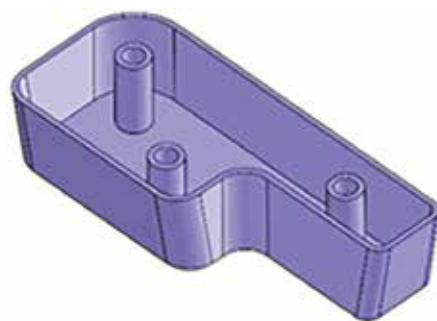
1. 構想と基本設計
(図面展開、テンプレート設定)
2. 設計製図効率を向上させるために事前に準備しておくべき事項
(1) データ管理機能(テンプレート、ブロックなど)
(2) 基本構想段階でのCADの使い方
(作図機能・編集機能・応用作図機能)
3. 実習課題



機械設計
・製図

設計に活かす3次元CADソリッドモデリング技術
(部品設計編)【SolidWorks】

コース番号	日程および訓練時間		内容
P0071	5/13(火)~16(金)	9:15 ~16:00 (24時間)	製品設計業務における効率的な設計作業と設計の高付加価値化と生産性の向上をめざして、「製品(部品)機能=フィーチャー」と捉えた活用方法、組立設計と図面の活用及び設計検討項目の検証方法を習得します。 1. 設計とは 2. モデリング3カ条 3. 設計変更を考慮したモデリング 4. アセンブリ 5. 図面作成
P0072	6/17(火)~20(金)		
P0073	8/19(火)~22(金)		
P0074	9/30(火)~10/3(金)		
P0075	11/18(火)~21(金)		
定員	10名	受講料	21,500円
使用機器	SolidWorks2018以降		
持参品	筆記用具		

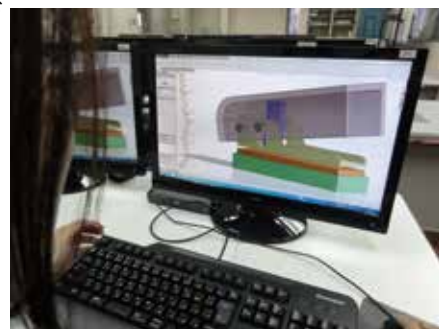


機械設計
・製図

設計に活かす3次元CADアセンブリ技術
(構想・組立編)【SolidWorks】

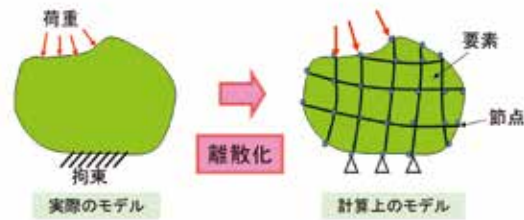
コース番号	日程および訓練時間		内容
P0081	6/24(火)~26(木)	9:15 ~16:00 (18時間)	設計ツールの「製品(部品)機能=フィーチャー」と捉えた活用方法及び「機能展開=アセンブリ」と捉えた構想設計段階における活用方法などを習得します。 1. 設計とは 2. アセンブリを利用した製品設計 3. 設計検証実習 4. 構想設計実習(アイデア、構想図、樹形図等) 5. 設計変更実習
P0082	12/3(水)~5(木)		
定員	10名	受講料	17,500円
使用機器	SolidWorks2018以降		
持参品	筆記用具		

●対象者：「設計に活かす3次元CADソリッドモデリング技術(部品設計編)【SolidWorks】」を受講された方、または同等の知識をお持ちの方



機械設計・製図 **有限要素法理論理解のための材料力学から有限要素法への展開**

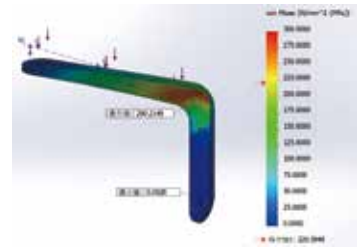
コース番号	日程および訓練時間		内容
P0091	11/13(木),14(金)	9:15 ~16:00 (12時間)	<p>CAEに関する技能高度化に向けて、軸の引張・圧縮、梁の曲げ、軸の座屈について材料力学による理論と有限要素法による解析方法を比較検討することによって、解析プログラムの仕組みと計算結果の評価方法を習得します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 材料力学 2. 軸の引張・圧縮 3. 梁のたわみ 4. 軸の座屈 5. 有限要素法のための数学
定員	10名	受講料	16,500円
使用機器	SolidWorks2018以降、SolidWorks Simulation		
持参品	筆記用具、関数電卓(貸出可)		



機械設計・製図 **設計者CAEを活用した構造解析【SolidWorks Simulation】**

コース番号	日程および訓練時間		内容
P0101	12/11(木), 12(金)	9:15 ~16:00 (12時間)	<p>構造解析（強度剛性解析）の理論及び解析結果の評価方法を理解し、設計プロセスの中でCAEを「設計ツール」として有効に活用するためのノウハウや技術を習得します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 設計とCAEの関わり 2. 解析の流れ 3. 解析結果の評価と注意点 4. 力学計算による理論値との比較 5. 応力集中部の解析 6. モデルの簡略化 7. アセンブリの解析
定員	10名	受講料	13,500円
使用機器	SolidWorks2018以降、SolidWorks Simulation		
持参品	筆記用具、関数電卓(貸出可)		

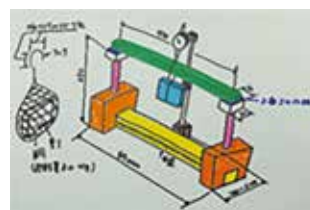
●対象者：「設計に活かす3次元CADソリッドモデリング技術（部品設計編）【SolidWorks】」を受講された方が望ましい。



機械設計
・製図

手戻りを減らす構想設計技術

コース番号	日程および訓練時間		内容
P0111	8/26(火)~29(金)		<p>9:15 ~16:00 (24時間)</p> <p>設計プロセスを経験したことがない方を対象に設計、組立調整、計測評価、改良設計のPDCAを体験し自身の設計品質の向上の糸口を探すコースです。設計仕様の数値化、検討事項の優先順位、設計検討のスパイラルアップを体験する設計演習でポンチ絵によるグループワークが実習の中心です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. SI単位、計算練習、ポンチ絵実習、 静定はり 不静定はり と簡略化された計算式の特徴、 質量と荷重、断面特性、材料特性 2. 仕様の確認とポンチ絵 (1) 設計仕様の数値化 (2) 検討事項の優先順位 3. 組立検証 設計検討のスパイラルアップ 4. 計測評価、改良設計、 改良後の確認
	定員	10名	
持参品	筆記用具、関数電卓(貸出可)		
備考	<p>講師: Koba Mechanical Design 小林 俊幸(予定)</p> <p>旧コース名: 設計プロセス実践 (設計評価編)</p> <p>●対象者: 自身の設計品質向上を目指す方。設計チームの構成員として自立し、将来の設計チームサブリーダーを目指す方。</p>		



機械設計
・製図

設計・施工管理に活かす溶接技術

コース番号	日程および訓練時間		内容
P0511	9/3(水), 4(木)		<p>9:15 ~16:00 (12時間)</p> <p>機械設計技術者を対象として、適正な溶接指示ができるように、溶接施工実習を通じて溶接手法を学ぶとともに、基本的な溶接部の設計に必要な関連知識を習得します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 溶接法及び溶接機器 2. 金属材料の溶接性ならびに溶接部の特徴 3. 溶接構造の力学と設計 4. 溶接材料について 5. 溶接施工実習
	定員	8名	
持参品	筆記用具、関数電卓(貸出可)、作業服、安全靴、作業帽		



溶接加工		半自動アーク溶接技能クリニック	
コース番号	日程および訓練時間		内容
P0521	8/27(水), 28(木)	9:15 ~16:00 (12時間)	半自動アーク溶接の "カンドコロ" を学科と実技を通して学んでいきます。
P0522	2/4(水), 5(木)		
定員	8名	受講料	17,000円
使用機器	炭酸ガスアーク溶接機		
持参品	筆記用具、作業服、作業帽、安全靴、保護めがね		



溶接加工		TIG溶接技能クリニック	
コース番号	日程および訓練時間		内容
P0531	7/7(月), 8(火)	9:15 ~16:00 (12時間)	TIGステンレス鋼溶接の "カンドコロ" を学科と実技を通して学んでいきます。
P0532	1/14(水), 15(木)		
定員	8名	受講料	17,000円
使用機器	TIG溶接機		
持参品	筆記用具、作業服、作業帽、安全靴、保護めがね		



溶接加工		被覆アーク溶接技能クリニック	
コース番号	日程および訓練時間		内容
P0541	7/17(木), 18(金)	9:15 ~16:00 (12時間)	被覆アーク溶接の "カンドコロ" を学科と実技を通して学んでいきます。
定員	8名	受講料	17,000円
使用機器	被覆アーク溶接機		
持参品	筆記用具、作業服、作業帽、安全靴、保護めがね		



溶接加工

抵抗スポット溶接実践技術

コース番号	日程および訓練時間		内容
P0551	6/25(水) オンライン研修 10:00~16:00(5時間)		1. 抵抗スポット溶接の概要 2. ナゲット形成と品質 3. 各種材料の溶接と評価実習 4. 溶接欠陥とその対策及び品質管理 ※6/25(水)は高度ポリテクセンターによるオンライン研修です。 ※当セミナーの受講についてはご案内がありますので、受講申し込み前にお問い合わせください。
	7/1(火) 集合実習 9:00~16:45(7時間) (計12時間)		
定員	8名	受講料 14,000円	
使用機器	抵抗スポット溶接機、万能試験機		
持参品	筆記用具、作業服、安全靴、作業帽		



機械加工

旋盤加工技術（外内径&テーパ加工編）

コース番号	日程および訓練時間		内容
P0161	4/7(月)~10(木)	9:15 ~16:00 (24時間)	旋盤加工時の外内径加工において、加工条件の検討や図面で要求される部品形状（形状、寸法、粗さ等）を満たすための関連知識の把握とともに、実践的な旋盤技能を習得します。
P0162	9/1(月)~4(木)		
P0163	10/27(月)~30(木)		
P0164	3/2(月)~5(木)		
定員	8名	受講料 25,000円	1. 切削条件について 2. 外内径加工 3. テーパ加工 4. 加工部品の測定評価
使用機器	普通旋盤 LEO-80A(DMG森精機)、三つ爪チャック、各種測定器		
持参品	筆記用具、作業服、作業帽、安全靴、保護めがね、関数電卓(貸出可)		
備考	講師:ものづくりマイスター/おうみの名工 坂井 利文(予定)		



機械加工

旋盤によるねじ切り加工技術

コース番号	日程および訓練時間		内容
P0171	10/14(火)~16(木)	9:15 ~16:00 (18時間)	旋盤によるねじ加工における、ねじ切りバイトの研削作業、切削条件の選定、各種ねじ切り加工、および有効径測定などによるねじ精度検査など、高精度なねじ加工に必要な知識と技能を習得します。実習のなかで製作したねじ切りバイト（外径・内径）及び品物はお持ち帰りいただけます。
定員	8名	受講料 24,000円	
使用機器	普通旋盤 LEO-80A(DMG森精機)、両頭グラインダー、各種測定器、三針		
持参品	筆記用具、作業服、作業帽、安全靴、保護めがね、関数電卓(貸出可)		
備考	講師:ものづくりマイスター/おうみの名工 坂井 利文(予定)		●対象者:「旋盤加工技術（外内径&テーパ加工編）」を受講された方、または同等の知識をお持ちの方



機械加工 旋盤加工応用技術

コース番号	日程および訓練時間		内容
P0181	6/23(月)~26(木)	9:15 ~16:00 (24時間)	部品加工において要求される各種精度（寸法公差、幾何公差、表面粗さ）を満たすための、加工工程や加工条件の検討、段取りの最適化など、課題加工実習を通して総合的な旋盤技能を習得します。
定員	8名	受講料	25,000円
使用機器	普通旋盤LEO-80A(DMG森精機)、四つ爪チャック、各種測定器		
持参品	筆記用具、作業服、作業帽、安全靴、保護めがね、関数電卓(貸出可)		
備考	講師:ものづくりマイスター/おうみの名工 坂井 利文(予定)		<ul style="list-style-type: none"> 1. 四つ爪チャックによる高精度芯出し作業 2. 外内径加工 3. 溝加工 4. ねじ切り加工 5. テーパー加工 6. 加工部品の測定評価 <p>●対象者:「旋盤加工技術(外内径&テーパー加工編)」を受講された方、または同等の知識をお持ちの方</p>



機械加工 旋盤加工技術(技能エキスパート編)

コース番号	日程および訓練時間		内容
P0191	7/1(火)~3(木)	9:15 ~16:00 (18時間)	旋盤加工作業において、要求される精度や加工効率を満足するために求められる技術・技能を、技能検定課題を例に使用工具、加工手順、作業時間等の分析を通じて習得します。 課題:技能検定(普通旋盤作業)2級相当
定員	8名	受講料	18,000円
使用機器	普通旋盤 LEO-80A(DMG森精機)、四つ爪チャック、各種測定器		
持参品	筆記用具、作業服、作業帽、安全靴、保護めがね(ご自身の切削工具や測定器等をお持ちいただいで結構です。貸し出しもいたします。)		
備考	講師:ものづくりマイスター/おうみの名工 坂井 利文(予定)		<ul style="list-style-type: none"> 1. コース概要及び技能検定概要 2. 加工工程の考え方と作業手順書 <ul style="list-style-type: none"> (1) 技能検定(普通旋盤作業)の実技課題について (2) 加工工程の考え方と注意点及び作業手順書の作成 3. 切削工具とツーリング 4. 加工条件と作業時間(検定課題を例にした加工条件の考え方及び加工時間の計算方法) 5. 課題加工実習による検証と対策 <p>●対象者:「旋盤加工技術(外内径)&テーパー加工編」を受講された方、または同等の知識をお持ちの方</p>



機械加工 旋削加工の理論と実際

コース番号	日程および訓練時間		内容
P0201	10/8(水), 9(木)	9:15 ~16:00 (12時間)	旋削加工の特徴や、加工条件設定の考え方を理解し、加工条件や切削現象の把握と改善のできる能力を習得します。
定員	8名	受講料	15,000円
使用機器	普通旋盤、その他工作機械、切削動力計、表面性状測定器		
持参品	筆記用具、作業服、作業帽、安全靴、保護めがね、関数電卓(貸出可)		
			<ul style="list-style-type: none"> 1. 旋削加工概論 <ul style="list-style-type: none"> (1) 切削条件 (2) 切削抵抗と3分力 (3) 表面粗さと送り (4) 切りくず形状と加工条件 2. 切削検証実習 <ul style="list-style-type: none"> (1) 加工条件と表面粗さ (2) 加工条件と切りくず処理 (3) 加工条件と切削抵抗 3. まとめ



機械加工 フライス盤加工技術（溝加工編）

コース番号	日程および訓練時間		内容
P0211	6/9(月)~12(木)	9:15 ~16:00 (24時間)	部品加工において要求される条件（形状、寸法、粗さ等）を満たすための加工方法の検討や段取り等について、課題加工実習を通して、実践的なフライス盤技能を習得します。 1. フライス盤における切削条件について 2. 六面体加工 3. 溝加工 4. 勾配加工
P0212	9/29(月)~10/2(木)		
定員	7名	受講料	26,000円
使用機器	立形フライス盤2VB(イワシタ)、各種測定器		
持参品	筆記用具、作業服、作業帽、安全靴、保護めがね、関数電卓(貸出可)		
備考	講師:ものづくりマイスター/おうみの名工 坂井 利文(予定)		



機械加工 フライス盤加工技術（技能エキスパート編）

コース番号	日程および訓練時間		内容
P0221	6/17(火)~19(木)	9:15 ~16:00 (18時間)	フライス盤加工作業において、要求される精度や加工効率を満足するために求められる技術・技能を、技能検定課題を例に使用工具、加工手順、作業時間等の分析を通じて習得します。 課題：技能検定（フライス盤作業）2級相当 1. コース概要及び技能検定概要 2. 加工工程の考え方と作業手順書 (1) 技能検定（フライス作業）の実技課題について (2) 加工工程の考え方と注意点及び作業手順書の作成 3. 切削工具とツーリング 4. 加工条件と作業時間 (検定課題を例にした加工条件の考え方及び加工時間の計算方法) 5. 課題加工実習による検証と対策
定員	7名	受講料	22,500円
使用機器	立形フライス盤2VB(イワシタ)、各種測定器		
持参品	筆記用具、作業服、作業帽、安全靴、保護めがね(ご自身の切削工具や測定器等をお持ちください)		

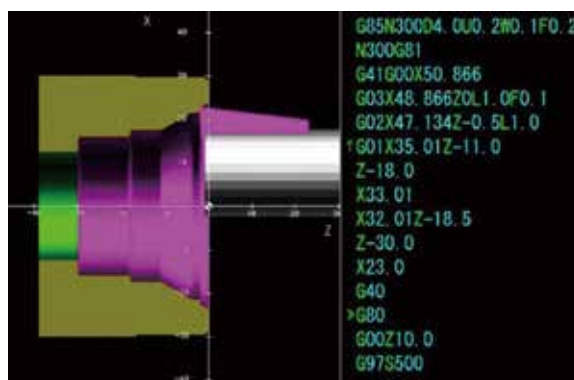
●対象者：「フライス盤加工技術（溝加工編）」を受講された方、または同等の知識をお持ちの方



NC加工

NC旋盤プログラミング技術

コース番号	日程および訓練時間		内容	
P0241	7/15(火)~18(金)		<p>課題加工実習を通して、要求される条件（形状、寸法、粗さ等）を満たすための加工方法の検討やプログラミング、段取り等を習得します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Gコードを使ったプログラム 2. 加工工程の考え方 3. プログラムの考え方 4. 課題演習 	
		9:15 ~16:00 (24時間)		
	定員	10名		受講料 18,000円
	使用機器	NC旋盤(オークマ LB300EXⅡ)、 ツールパスシミュレーションソフト		
持参品	筆記用具、作業服、作業帽、安全靴、 保護めがね			



NC加工

NC旋盤加工技術

コース番号	日程および訓練時間		内容	
P0251	7/23(水)~25(金)		<p>部品加工の製造現場におけるNC旋盤による高精度・高効率をめざして、必要となるNC旋盤の機能、工具、段取り、プログラム及び各種補正值の活用方法、また、生産能率を向上させるための切削条件の選定について、サンプルワークの加工実習を通して習得します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 加工形状の把握と加工工程の決定 2. 課題演習 3. 切削条件の設定 4. NC旋盤における作業手順 5. 加工実習 	
		9:15 ~16:00 (18時間)		
	定員	10名		受講料 17,000円
	使用機器	NC旋盤(オークマ LB300EXⅡ)、 各種切削工具、各種測定器		
持参品	筆記用具、作業服、作業帽、安全靴、 保護めがね			



NC加工

マシニングセンタプログラミング技術

コース番号	日程および訓練時間		内容
P0261	11/4(火)~7(金)		<p>課題加工実習を通して、要求される条件（形状、寸法、粗さ等）を満たすための工具の選定、加工条件の算出、加工工程の検討やプログラミング作成手法等を習得します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. マニュアルプログラミングのための基礎知識 2. 各種機能 3. 工具径・工具長補正 4. 固定サイクル 5. サブプログラム 6. 課題図面によるNCプログラミング演習
	9:15 ~16:00 (24時間)		
定員	10名	受講料	18,000円
使用機器	マシニングセンタ(Mazak FJV-200 II)、ツールパスシミュレーションソフト		
持参品	筆記用具、作業服、作業帽、安全靴、保護めがね		

N4(100FACE MILL-F)	O2121(RINKAKU-SUB1)
T02M06	G41G01Y-12.0
T05	X-13.0
M98P2901	X-12.0Y-13.0
G43Z100.0H02	Y-60.0
/M08	X12.0
S477M03	Y-13.0
X90.0	X13.0Y-12.0
G01Z0F1000	X60.0
X-90.0F239	Y12.0
M98P2902	X13.0
N5(G0.5)	X12.0Y13.0
T05M06	Y60.0
T00	X-12.0
M98P2901	Y13.0
G43Z100.0H02	X-12.0Y13.0

NC加工

マシニングセンタ加工技術

コース番号	日程および訓練時間		内容
P0271	11/12(水)~14(金)		<p>マシニングセンタ加工作業の効率化・高精度化をめざして、加工工程、段取り、切削条件等を実践的な課題加工実習を通し、製造現場で要求される製品加工及び生産性の向上ができる技能を習得します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 課題図面のチェック 2. 加工工程表の作成 3. プログラミング作業 4. 段取り作業（ワーク原点設定、工具長測定、工具補正量の設定等） 5. 加工作業（ドライラン・試し削り・寸法だし） <p>●対象者：「マシニングセンタプログラミング技術」を受講された方、または同等の知識・経験をお持ちの方</p>
	9:15 ~16:00 (18時間)		
定員	10名	受講料	17,000円
使用機器	マシニングセンタ(Mazak FJV-200 II)、各種切削工具、測定機器		
持参品	筆記用具、作業服、作業帽、安全靴、保護めがね		



測定		精密測定技術（長さ測定編）	
コース番号	日程および訓練時間		内容
P0281	5/14(水), 15(木)	9:15 ~16:00 (12時間)	機械部品製造における機械加工及び測定・検査作業の技能高度化をめざして、製造現場で用いられる測定機器の最適な選択と能率的計測技能・技術を習得します。 1. 測定・検査の概論 2. 各種測定器の原理と測定方法 3. 測定誤差について 4. 測定課題実習
P0282	8/6(水), 7(木)		
定員	10名	受講料	10,000円
使用機器	各種測定器と補助具		
持参品	筆記用具、作業服(上)		



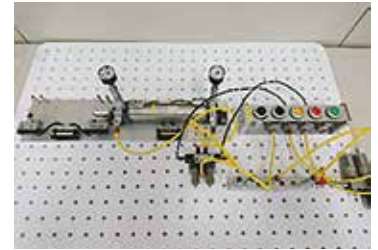
測定		精密測定技術（技能エキスパート編）	
コース番号	日程および訓練時間		内容
P0291	12/10(水), 11(木)	9:15 ~16:00 (12時間)	機械部品製造における機械加工及び測定・検査作業の技能高度化をめざして、製造現場で用いられる測定機器の最適な選択と能率的計測技能・技術を、技能検定課題を例に作業時間等の分析を通じて習得します。 課題：技能検定（機械検査）2級相当 1. コース概要及び技能検定概要 2. 実技課題について (1) マイクロメータ等を使用した寸法測定 (2) 歯厚マイクロメータを用いた歯車のまたぎ歯厚測定 (3) 三針法によるねじプラグゲージの有効径測定 (4) 外側マイクロメータの性能判定 (器差及び平行度測定) 3. 測定手順の確認 4. 課題実習による検証と対策 ●対象者：「精密測定技術（長さ測定編）」を受講された方、または同等の知識・経験をお持ちの方
定員	10名	受講料	12,000円
使用機器	各種測定器と補助具		
持参品	筆記用具、作業服(上)、関数電卓(貸出可)		



油空圧 空気圧実践技術

コース番号	日程および訓練時間		内容
P0301	6/18(水)~20(金)		空気圧システムの最適化をめざして、空気圧機器の構造・動作原理・JISによる回路図記号を理解した上で、実機に用いられる主要な制御回路の構成、動作特性を理解し、装置のトラブル防止や問題解決・改善に対応した職務を遂行できる能力を習得します。
	9:15 ~16:00 (18時間)		
定員	8名	受講料	17,000円
使用機器	空気圧実習装置、空気圧機器カットモデル		
持参品	筆記用具、電卓(貸出可)、作業服、作業帽、安全靴		

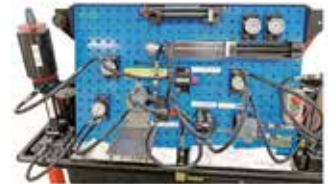
1. 空気圧の概要
2. 空気圧機器の構成
3. 空気圧機器の制御
4. 総合課題



油空圧 油圧実践技術

コース番号	日程および訓練時間		内容
P0311	6/11(水)~13(金)		油圧機器の構造・作動原理・JISによる回路図記号を理解した上で、実機に用いられる主要な制御回路の構成、動作特性を実践的に習得します。
P0312	9/17(水)~19(金)		
定員	8名	受講料	19,000円
使用機器	油圧トレーニング装置一式		
持参品	筆記用具、電卓(貸出可)、作業服、作業帽、安全靴		

1. 油圧装置の概要と回路図
2. 油圧機器の概要
3. 作動油
4. 圧力制御・流量制御等を必要とする回路を想定した課題実習



油空圧 油圧システムの保全技術

コース番号	日程および訓練時間		内容
P0321	10/21(火)~23(木)		油圧装置の取扱い注意事項及びメンテナンスに関する作業についての的確な判断ができ、作業の改善等に活用できる能力を習得します。
	9:15 ~16:00 (18時間)		
定員	8名	受講料	19,000円
使用機器	油圧トレーニング装置一式、分解組立用油圧機器一式、トラブル診断用油圧機器一式		
持参品	筆記用具、電卓(貸出可)、作業服、作業帽、安全靴		

1. 油圧機器分解・組立実習
2. 油圧機器のトラブル要因
3. 作動油のメンテナンス
4. 油圧回路の読解およびトラブルの原因と対策



機械保全

生産現場の機械保全技術（伝動要素編）

コース番号	日程および訓練時間		内容	
P0331	7/9(水), 10(木)		機械保全作業の技能高度化をめざして、トラブルを防ぐための保全作業や停止できない機械に対する設備診断技術を習得します。 1. 締結要素（ボルト・ナット）に関する保全 2. 伝達系機械要素（Vベルト・チェーン・歯車等）の保全 3. トラブル事例と原因・対策 4. 振動診断（転がり軸受）と保全	
	9:15 ~16:00 (12時間)			
	定員	6名		受講料 15,000円
	使用機器	回転機械トレーニング装置一式、振動シミュレータ、振動計		
	持参品	筆記用具、作業服、作業帽、安全靴		
備考	旧コース名:生産現場の機械保全技術（駆動要素編）			



材料利用

鉄鋼材料の材料特性と活用技術

コース番号	日程および訓練時間		内容	
P0341	6/17(火), 18(水)		鉄鋼部品の材料選定及び加工方法の最適化をめざして、鉄鋼材料の種類と特性に関する知識を習得します。 1. 元素から見た鉄鋼材料 2. 鉄の性質 3. 鉄鋼材料の種類 4. 熱処理 5. 切削性と加工改善	
	9:15 ~16:00 (12時間)			
	定員	8名		受講料 13,000円
	持参品	筆記用具、作業服、作業帽、関数電卓(貸出可)		
	備考	講師:ソフィアフロント 横山 明宜 (元サンドビック株式会社)(予定)、ポリテクセンター京都 機械系指導員		



材料利用 鉄鋼材料の熱処理技術（材料の選定と熱処理法）

コース番号	日程および訓練時間		内容
P0351	12/17(水)～19(金)		炭素鋼・特殊鋼（ステンレス鋼、軸受鋼等）など鉄鋼材料の特性を発揮する最良の熱処理方法について学び各種鉄鋼材料の最適な選定や熱処理内容の検討方法を習得します。実習では、炭素鋼・特殊鋼を用いて、焼き入れ性や耐衝撃性の検証実験、熱処理のポイント、焼き入れ体験、試料の磨き方・組織観察・硬さ試験の方法を習得します。
	9:15 ～16:00 (18時間)		
定員	8名	受講料	18,000円
使用機器	電気炉、金属顕微鏡、バフ研磨機、各種硬さ試験機(ロックウェル・マイクロピッカース・ブリネル)、シャルピー衝撃試験機		
持参品	筆記用具、作業服、作業帽、安全靴		

1. 熱処理概要
2. 各種鉄鋼材の熱処理
3. 熱処理評価試験(ジョミニー試験)、衝撃値試験(シャルピー衝撃試験)
4. 焼き入れ体験
5. 最適な鉄鋼材料の選定方法
6. 熱処理組織の観察と硬さ試験



手仕上げ 機械組立仕上げのテクニック（やすり・きさげ仕上げ）

コース番号	日程および訓練時間		内容
P0361	7/1(火)～4(金)		機械組立仕上げ・調整における高精度・高能率な技術・技能を、実践的な課題加工実習を通して習得します。
	9:15 ～16:00 (24時間)		
定員	8名	受講料	22,000円
使用機器	定盤、やすり、各種測定器		
持参品	筆記用具、作業服、作業帽、安全靴、保護めがね		

1. 課題図の検討
2. やすり仕上げによる寸法だし
3. 穴あけ・ねじ立て
4. きさげ仕上げ
5. 組立調整及び検査



工具研削 工具研削実践技術（ドリル研削編）

コース番号	日程および訓練時間		内容
P0371	11/11(火)～13(木)		機械加工におけるドリル研削作業の技能高度化をめざして、加工メカニズムや、高精度な穴あけ加工を行うための、ドリル研削の実践的な知識及び技能を実習及び検証実験を通じて習得します。
	9:15 ～16:00 (18時間)		
定員	8名	受講料	18,000円
持参品	筆記用具、作業服、作業帽、安全靴、保護めがね		
備考	講師:ものづくりマイスター/おうみの名工 坂井 利文(予定)		

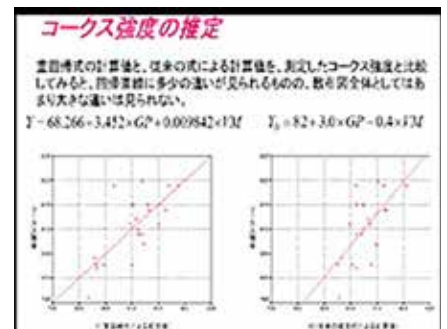
1. ドリルの形状や加工メカニズム
2. 両頭グラインダ作業と安全
3. ドリル研削法
4. ドリル寸法精度の検証実験



生産管理		現場を動かす論理的思考力 (ロジカルシンキング) の育成	
コース番号	日程および訓練時間		内容
P0411	9/25(木), 26(金)	9:15 ~16:00 (12時間)	<p>当セミナーでは生産現場あるいはそれを支える企画、営業、事務などの職種において、生産効率の向上及び、製品の品質向上をめざし、物事を体系的にとらえる論理的思考力（ロジカルシンキング）の育成を実践的な実習を通して習得します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. グローバルスタンダードとしての思考法（日本的な思考と欧米的な思考の違い） 2. 体系的にとらえる思考法（MECE、三角ロジック、ロジックツリー） 3. 発想を広げる思考法（ブレインストーミング、マインドマップ、マトリックス分析、フェルミ推定） 4. ロジカルプレゼンテーション演習（発表、質疑応答、振り返り）
定員	10名	受講料	11,000円
使用機器	ブレインストーミング作成ツール		
持参品	筆記用具		



生産管理		生産プロセス改善のための統計解析（ビッグデータに備え、多様なデータを活用し、意思決定に役立てる力を身につけよう）	
コース番号	日程および訓練時間		内容
P0421	6/9(月), 10(火)	9:15 ~16:00 (12時間)	<p>当セミナーでは生産現場あるいはそれを支える企画、営業、事務などの職種において、生産効率の向上及び、製品の品質向上をめざすために、大量のデータを分析し、意思決定する手法を学びます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 統計手法の概要 2. 単回帰分析と重回帰分析 3. 量的データと質的データ 4. 数量化理論 5. 判別分析 6. 多重共線性 7. 統計解析演習
定員	10名	受講料	12,000円
使用機器	Excel		
持参品	筆記用具		



生産管理

製造現場における工程管理技法と改善

コース番号	日程および訓練時間		内容	
P0431	6/26(木), 27(金)	9:15 ~16:00 (12時間)	生産現場における生産工程において、最適化・効率化及び改善をめざして、工程を管理する手法について習得します。 1. 工程管理の考え方 2. 工程管理と進捗管理 3. 工程管理手法による実践的課題実習	
定員	10名 (最大15名)	受講料		14,000円
持参品	筆記用具、電卓、定規			
備考	講師: ミエルカ コンサルティングクラブ 代表 巽 豊			



生産管理

生産現場に活かす品質管理技法

コース番号	日程および訓練時間		内容	
P0441	12/11(木), 12(金)	9:15 ~16:00 (12時間)	生産現場における生産性の効率化・最適化をめざして、科学的管理手法や統計的手法を活用した品質管理の各種手法について習得します。 1. 品質管理とデータ 2. 統計管理に用いる代表的な統計量と正規分布について 3. QC七つ道具とその活用事例 4. 抜き取り検査について 5. 演習課題	
定員	10名 (最大15名)	受講料		14,000円
持参品	筆記用具、電卓(ルート計算必須)、定規			
備考	講師: ミエルカ コンサルティングクラブ 代表 巽 豊			



生産管理

5Sによるムダ取り・改善の進め方

コース番号	日程および訓練時間		内容
P0451	5/29(木), 30(金)	9:15 ~16:00 (12時間)	指導技法の現場力及び技法継承をめざして、技能高度化・診断・予防保全に向けた生産現場で発生する問題の分析・改善技法及び指導技法を習得する。 1. 5Sの推進による現場の改善 2. ムダ取りの実践による現場改善 3. 現場改善のための指導技法
P0452	9/4(木), 5(金)		
P0453	11/13(木), 14(金)		
定員	10名 (最大15名)	受講料	14,000円
持参品	筆記用具		
備考	講師: ミエルカ コンサルティングクラブ 代表 巽 豊		

5Sとは	
整理	いるものといらないものを分けて、いらないものを捨てること。
整頓	決められたものを、決められた場所に置き、いつでも取り出せる状態にしておくこと。
清掃	常に掃除をして、職場をきれいな状態に保つこと。
清潔	上の3S(整理・整頓・清掃)を維持すること。
躰(しつけ)	決められたルール、手順を正しく守る習慣をつけること。

生産管理		製造現場におけるヒューマンエラー対策と実践的技法	
コース番号	日程および訓練時間		内容
P0461	5/15(木), 16(金)		<p>製造現場における生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化（改善）、安全性向上に向けたヒューマンエラーの発生要因の分析及び防止の実践的な手法を習得します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ヒューマンエラーとは 2. ヒューマンエラー発生の問題発見 3. ヒューマンエラー防止策 4. 製造現場におけるヒューマンエラー発生要因、分析と対策、グループディスカッション
P0462	8/21(木), 22(金)		
P0463	11/20(木), 21(金)		
定員	10名 (最大15名)	受講料	14,000円
持参品	筆記用具		



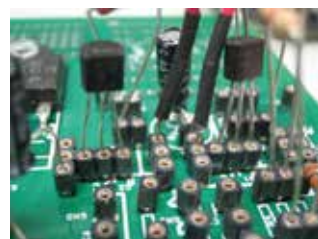
生産管理		生産現場で活用するリーダーシップ手法	
コース番号	日程および訓練時間		内容
P0471	6/12(木), 13(金)		<p>生産現場における現場力強化及び技能継承をめざして、技能高度化に向けた生産現場における事例演習を通して、部下の指導方法や育成方法など製造業に適したリーダーシップ手法を習得します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生産現場とリーダーシップ 2. 現場管理者が目指すもの 3. リーダーシップの要点 4. 生産現場におけるリーダーの役割グループディスカッション
P0472	10/2(木), 3(金)		
P0473	2/26(木), 27(金)		
定員	10名 (最大15名)	受講料	14,000円
持参品	筆記用具		



電子回路技術

トランジスタ回路の設計と評価の実践技術

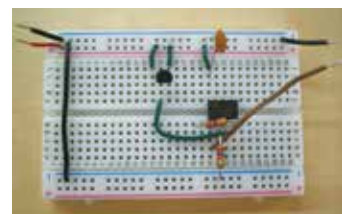
コース番号	日程および訓練時間		内容	
P2011	6/11(水), 12(木)	9:15 ~16:00 (12時間)	トランジスタの特性を理解し、スイッチング回路、増幅回路の設計技術を習得することを目標としています。トランジスタを使用したアナログ回路の製作実習を行う内容になっています。 1. スwitching回路 2. エミッタ接地増幅回路 3. エミッタフォロア回路 4. 差動増幅回路 5. オペアンプ内部等価回路	
P2012	2/4(水), 5(木)			
定員	10名	受講料		12,000円
使用機器	直流電源、オシロスコープ、ファンクションジェネレータ、マルチメータ、電流計、各種工具、電卓、その他			
持参品	筆記用具			



電子回路技術

オペアンプ回路の設計・評価技術

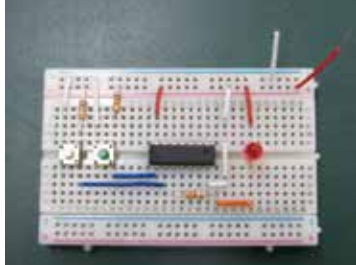
コース番号	日程および訓練時間		内容	
P2021	6/25(水), 26(木)	9:15 ~16:00 (12時間)	オペアンプの特性を理解し、各種増幅回路等の設計技術を習得することを目標としています。オペアンプを使用した増幅回路等の製作実習を行う内容になっています。 1. 反転増幅回路・非反転増幅回路 2. 電圧フォロア 3. コンパレータ回路 4. 微積分回路 5. その他（応用回路等）	
P2022	2/18(水), 19(木)			
定員	10名	受講料		12,000円
使用機器	直流電源、オシロスコープ、ファンクションジェネレータ、マルチメータ、各種工具、電卓、その他			
持参品	筆記用具			




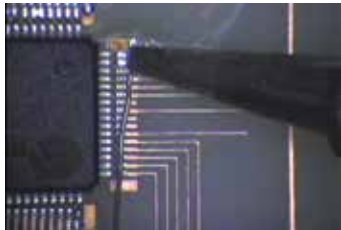
電子回路技術

FET 回路の設計・評価技術

コース番号	日程および訓練時間		内容	
P2031	6/18(水), 19(木)	9:15 ~16:00 (12時間)	FETの原理・特性を理解し、FETを使用した増幅回路・スイッチング回路など実用回路の設計・製作実習を通して、回路設計方法および評価技術について習得します。 1. FETの知識 (1) FETの動作モデル (2) FETの動作 (3) 各種回路への応用 2. リニア・モードの回路 (1) LED定電流駆動回路 (2) ソース接地増幅回路 (3) 動作確認 3. スイッチ・モードの回路 (1) MOSFETによるハーフ・ブリッジ・モータ駆動回路 (2) MOSFETによるフル・ブリッジ・モータ駆動回路 (3) 動作確認 4. 総合実習	
P2032	10/8(水), 9(木)			
定員	10名	受講料		12,000円
使用機器	直流電源、オシロスコープ、ファンクションジェネレータ、マルチメータ、電流計、各種工具、電卓			
持参品	筆記用具			

電子回路技術		デジタル回路設計技術		内容	
コース番号	日程および訓練時間		内容		
P2041	7/9(水), 10(木)		9:15 ~16:00 (12時間)	論理回路に必要なデジタルICのハードウェアから、組み合わせ論理回路、レジスタ回路、カウンタ回路など、論理回路の回路設計につながる技術と知識を実習を通して習得します。	
	定員	10名		受講料	12,000円
使用機器	直流電源、オシロスコープ、ファンクションジェネレータ、マルチメータ、各種工具、電卓、その他				
持参品	筆記用具				
				<ol style="list-style-type: none"> 1. ブール代数 2. 基本ゲートIC 3. 組合せ回路 4. 順序回路 5. カウンタ回路 6. レジスタ回路 	

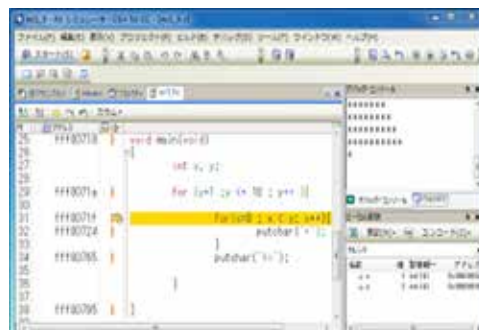
電子回路技術		HDLによる回路設計技術		内容	
コース番号	日程および訓練時間		内容		
P2051	7/16(水), 17(木)		9:15 ~16:00 (12時間)	ハードウェア記述言語 (Verilog HDL) によるデジタル回路の設計手順を習得することを目標とします。VHDL言語の文法解説と組合せ論理回路、フリップフロップ回路、カウンタ回路などのハードウェアのプログラミングをFPGAボードを用いて習得する内容となっています。	
	定員	10名		受講料	10,000円
使用機器	FPGA評価ボード、パソコン、各種工具、その他				
持参品	筆記用具				
				<ol style="list-style-type: none"> 1. HDLについて 2. FPGAについて 3. 組合せ回路の記述法 4. 順序回路の記述法 5. カウンタ回路の記述法 <p>●対象者：「デジタル回路設計技術」を受講していることが望ましい</p>	

電子回路技術		基板製作に係る鉛フリーはんだ付け技術		内容	
コース番号	日程および訓練時間		内容		
P2061	9/3(水), 4(木)		9:15 ~16:00 (12時間)	ソルダ（はんだ）の鉛フリー化による問題の解決と品質向上をめざして、JIS規格に基づいた、マニュアルはんだ付け作業の実践技術・管理技術を習得します。	
P2062	11/19(水), 20(木)				
定員	10名	受講料	13,000円		
使用機器	温度コントローラ付はんだこて、実習用基板・部品等、ルーペ(顕微鏡)、工具一式、温度コントロール管理ソフト、その他				
持参品	筆記用具				
				<ol style="list-style-type: none"> 1. 鉛フリーはんだについて 2. はんだの良／不良について 3. はんだ付け練習 	

マイコン制御

組込み技術者のためのプログラミング（C言語編）

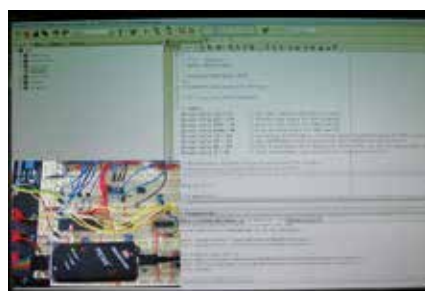
コース番号	日程および訓練時間		内容
P2071	7/23(水), 24(木)	9:15 ~16:00 (12時間)	<p>マイコン制御システムにおけるプログラム開発に必要なC言語（制御構造、データ等の書法）を習得することにより、設計開発時におけるプログラミング上の問題解決を図ります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. C言語の概要 2. データの入出力と変数 3. 制御構造 4. 関数の作成と変数のスコープ 5. 配列と文字列の基本 <p>●対象者：パソコンを使って英数文字入力等、キーボード操作ができる方</p>
定員	10名	受講料	10,000円
使用機器	制御用ターゲットボード、開発用パソコン、開発ツール、その他		
持参品	筆記用具		



マイコン制御

マイコン制御システム開発技術（PIC編）

コース番号	日程および訓練時間		内容
P2081	11/26(水), 27(木)	9:15 ~16:00 (12時間)	<p>PICマイコンを使用し、そのアーキテクチャの解説から、入出力制御、割込み制御、LCD制御、A/D変換制御、各種モータ制御などの制御プログラミングを実習にて行う内容となっています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 割込み制御 2. LCD制御 3. タイマを活用したモータ制御 4. PWM信号を活用したモータ制御（DCモータ、ステッピングモータ） <p>●対象者：「組込み技術者のためのプログラミング（C言語編）」を受講していることが望ましい</p>
定員	10名	受講料	10,000円
使用機器	マイコンボード、モータ、センサ、オシロスコープ、開発ツール、その他		
持参品	筆記用具		



マイコン
制御

マイコン制御システム開発技術 (RX マイコン編)

コース番号	日程および訓練時間		内容
P2091	9/9(火)~11(木)		RX マイコンを使用し、アーキテクチャの知識から、制御プログラミング技法について実習を通して習得します。各種周辺機能を活用した制御プログラミング実習を行う内容となっています。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 割込み制御 2. LCD 制御 3. タイマを活用したモータ制御 4. PWM 信号を活用したモータ制御 (DC モータ、ステッピングモータ) ●対象者：「組込み技術者のためのプログラミング (C 言語編)」を受講していることが望ましい
		9:15 ~16:00 (18時間)	
定 員	10 名	受 講 料	13,000 円
使用機器	RXマイコン、計測機器、DCモータ、ステッピングモータ、外部負荷装置、パソコン、各種工具、その他		
持 参 品	筆記用具		



シーケンス
制御

有接点シーケンス制御の実践技術

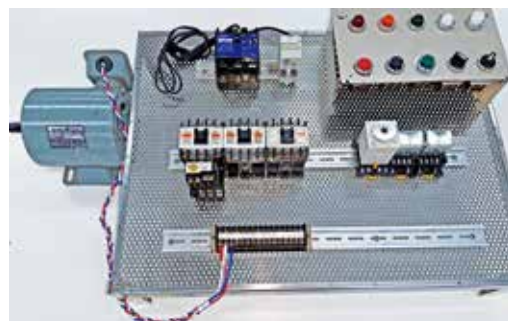
コース番号	日程および訓練時間		内容
P2101	4/12(土), 13(日)		有接点シーケンス制御で使用される制御機器の知識や図面の読み方から配線技法までを習得します。タイマを用いた各種制御回路の配線・動作確認までを行います。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 制御機器 (スイッチ、表示灯、補助リレー) 2. 展開接続図の読み方 3. 機器の配置と接続方法 4. 各種の制御回路
P2102	5/7(水), 8(木)		
P2103	6/3(火), 4(水)		
P2104	7/15(火), 16(水)		
P2105	10/28(火), 29(水)		
P2106	12/16(火), 17(水)		
定 員	10 名	受 講 料	12,000 円
使用機器	実習用ボード、テスタ、工具一式、制御用機器一式(リレー、スイッチ、表示灯、タイマ、端子台)、その他		
持 参 品	筆記用具		



シーケンス制御

シーケンス制御による電動機制御技術

コース番号	日程および訓練時間		内容
P2111	6/10(火), 11(水)	9:15 ~16:00 (12時間)	電動機運転のための有接点シーケンス制御回路の設計・組立・運転などに必要な知識や技能を習得します。 1. 主回路の制御機器 2. 展開接続図の読み方 3. 始動法(直入れ・可逆・Y-Δ運転) 4. 電動機回路の組立・運転 ●対象者:「有接点シーケンス制御の実践技術」を受講していることが望ましい。
P2112	7/23(水), 24(木)		
P2113	11/5(水), 6(木)		
P2114	2/3(火), 4(水)		
定員	10名	受講料	12,000円
使用機器	実習用ボード、テスタ、工具一式、制御用機器一式(電磁接触器、補助リレー、スイッチ、表示灯、サーマルリレー、タイマ、端子台)、三相誘導電動機、その他		
持参品	筆記用具		



シーケンス制御

制御盤製作技術(配線設計編)

コース番号	日程および訓練時間		内容
P2121	8/19(火)~21(木)	9:15 ~16:00 (18時間)	シーケンス制御回路の設計及び制御盤内の効率の良い配線経路の設計手法を学ぶとともに、模擬制御盤を使用しての主回路・制御回路の組立てと、その実務作業を習得します。 ●対象者:「シーケンス制御による電動機制御技術」を受講された方、または同等の知識をお持ちの方
P2122	1/20(火)~22(木)		
定員	6名	受講料	20,000円
使用機器	実習用ボード、テスタ、工具一式、制御用機器一式(電磁接触器、補助リレー、スイッチ、表示灯、サーマルリレー、タイマ、端子台、ダクト)、三相誘導電動機、センサボード、その他		
持参品	筆記用具		



シーケンス
制御

PLC による自動化制御技術

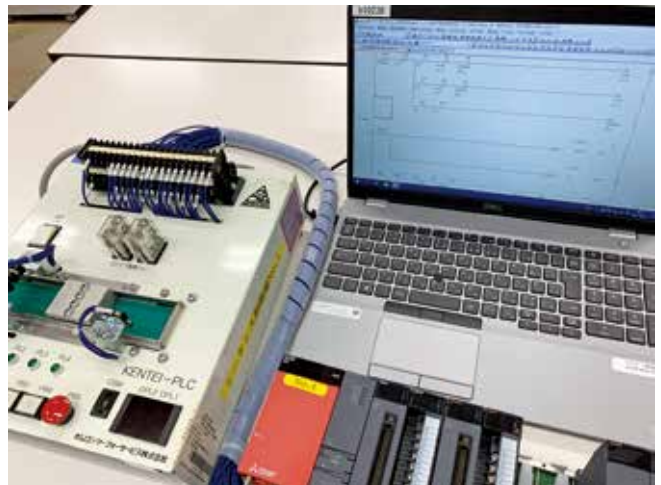
コース番号	日程および訓練時間		内容
P2131	6/17(火)~19(木)		三菱電機製の PLC を対象として、シーケンス命令の解説と負荷装置を使用してのラダー図作成演習を行います。
P2132	9/2(火)~4(木)	9:15 ~16:00 (18時間)	
P2133	11/25(火)~27(木)		
定員	10名	受講料	15,000円
使用機器	PLC、パソコン、サポートソフト、コンペアモデル		
持参品	筆記用具		



シーケンス
制御

PLC 制御の応用技術 (数値処理編)

コース番号	日程および訓練時間		内容
P2141	10/21(火), 22(水)		三菱電機製の PLC を対象として、数値データの取扱い、応用命令などについて解説し、模擬負荷装置を使用してラダー図作成演習を行います。 ●対象者：「PLC による自動化制御技術」を受講された方、または同等の知識をお持ちの方
P2142	2/25(水), 26(木)	9:15 ~16:00 (12時間)	
定員	10名	受講料	12,000円
使用機器	PLC、パソコン、入出力機器、サポートソフト、コンペアモデル		
持参品	筆記用具		



シーケンス制御

PLCによる位置決め制御技術

コース番号	日程および訓練時間		内容
P2151	10/15(水), 16(木)	9:15 ~16:00 (12時間)	<p>自動化生産システムの設計・保守の最適化及び生産性の向上をめざして、PLCによるサーボモーターの位置決め制御の方法とシーケンス制御に関する応用力を習得します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. サーボモータについて 2. 位置決め制御について 3. パラメータ調整について 4. 制御プログラム作成 <p>●対象者：「PLC制御応用技術（数値処理編）」を受講された方、もしくは同等の知識をお持ちの方</p>
定員	10名	受講料	10,000円
使用機器	PLC(三菱電機Q03UDECPU)、位置決めユニット、GOT、パソコン、サーボモータ、各種工具、その他		
持参品	筆記用具		



NEW

電気設備

低圧電気設備の保守点検技術

コース番号	日程および訓練時間		内容
P2161	7/9(水), 10(木)	9:15 ~16:00 (12時間)	<p>電気設備保全の現場力強化のため故障対応・予防に向けた低圧電気設備の点検実習を通じて、実践的な点検実務及び電気工作物を維持・運用するための技術を習得します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 低圧電気設備と保全 2. 電気事故 3. 測定器概要 4. 点検の目的と管理値 5. 設備の保守点検演習 <p>※本コースは、令和6年度に実施した「電気設備のための計測技術」コースの内容と一部重複しています。</p>
定員	10名	受講料	12,000円
使用機器	各種電気計測器		
持参品	筆記用具		



コース番号	日程および訓練時間		内容
P2171	8/26(火), 27(水)	9:15 ~16:00 (12時間)	<p>高圧受電設備の構成と役割を確認し、高圧受電設備保守点検を実施するための実習により、自家用電気工作物の維持及び運用実務などを習得します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高圧受電設備の構成と役割 2. 高圧受変電設備用機器 3. 高圧受変電設備結線図
定員	10名	受講料	12,000円
使用機器	高圧受変電用設備機器		
持参品	筆記用具		

コース番号	日程および訓練時間		内容
P2181	12/3(水)~5(金)	9:15 ~16:00 (18時間)	<p>電気系保全作業に必要な知識および技能を、作業課題の実習を通して習得します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 電気系保全の概要 2. 不良の原因と種類 3. リレーや回路の故障箇所発見技術 4. 技能検定電気系保全作業課題による総合実習 <ol style="list-style-type: none"> (1) PLCによる回路組立作業 <ol style="list-style-type: none"> ① PLC入出力配線 ② タイムチャートからのラダープログラム作成 (2) リレー・タイマの点検、有接点シーケンス回路の点検および修復作業
定員	10名	受講料	15,000円
使用機器	技能検定 電気系保全作業 実技試験 学習ユニット、PLC(三菱電機製)、パソコン、プログラミングツール(GX Developer)、工具、その他		
持参品	筆記用具		
備考	<p>PLCのプログラム作成の経験がない方は「PLCによる自動化制御技術」を受講して下さい。</p> <p>普段お使いのPLC、プログラム作成用パソコンおよび通信ケーブルを持参して使用していただくことも可能です。</p>		

●対象者：「有接点シーケンス制御の実践技術」と「PLCによる自動化制御技術」の両方を受講された方、または同等の知識をお持ちの方



京都職業能力開発短期大学校

〒 624-0912 京都府舞鶴市上安 1922
TEL : 0773-75-4341 (援助係) FAX : 0773-75-4378
E-mail : kyoto-college02@jeed.go.jp

●公共交通機関でお越しの場合

● JR をご利用の方

JR 舞鶴線を「西舞鶴駅」で下車。京都交通バスの東西循環線（右回り）を利用し「倉谷口」停留所で下車、北へ徒歩 2 分。

●お車でお越しの場合

●綾部・宮津方面からお越しの方

国道 27 号線「倉谷口」交差点を左折（0.1km）。

●東舞鶴方面からお越しの方

国道 27 号線「倉谷口」交差点を右折（0.1km）。

●昼食について

平日は食堂がご利用可能です。

※土・日・祝日は営業しておりません。

※当校学生の夏季・冬季・春季休暇も営業しておりません。

●更衣室について

作業着を着用するセミナーについては、着替えのできる部屋をご用意いたします。お電話等でお問い合わせください。

●台風時等の対応について

台風時等におけるセミナーについては、原則実施することといたしますが、**午前 7 時の時点で舞鶴市に「特別警報」が発令された場合、または「警報（暴風・暴風雪・大雪）のいずれか」、または「大雨警報と洪水警報が両方とも」が発令された場合は、セミナーを中止とさせていただきます、中止した日のカリキュラムは、後日調整させていただきます。**

また、当校の事情により、やむを得ずセミナーの日程を変更したり中止したりすることがありますので予めご了承ください。この場合は、電話等によりご連絡いたします。

企業・事業主団体等の皆さまへのサポート

●舞鶴市の支援制度について

京都職業能力開発短期大学校が行う能力開発セミナーを活用し、技術力の向上に取り組まれる舞鶴市内の中小企業様等に対して、予算の範囲内で対象経費の一部（4分の3）が市から助成されます。

詳しくは、舞鶴市 産業活力課へお問い合わせください。（電話 0773-66-1021）

施設紹介

京都職業能力開発短期大学校では 48 ページから掲載している各種セミナーを開催するほか、事業主の皆様へのオーダーセミナーや施設設備貸与を行っています。

オーダーセミナーのご案内→ 61 ページ

施設利用のご案内→ 62 ページ



① 5号館1階 実習場



② 5号館2階 溶接実習場



③ 6号館3階 実習室



④ 7号館 NC 実習場



⑤ 学生ホール（食堂）



⑥ 4号館 視聴覚室

駐車場 ご案内図



機械系コース受講マップ

機械設計・機械製図

実践機械製図
(公差・部品図編)
→ 48 ページ



実践機械製図
(機械要素編)
→ 48 ページ

2次元 CAD に
よる機械製図技術
→ 48 ページ

設計に活かす
3次元 CAD
ソリッドモデリ
ング技術
→ 49 ページ



設計に活かす
3次元 CAD
アセンブリ技術
→ 49 ページ

汎用機械加工

旋盤加工技術
→ 50 ページ



NC 旋盤
プログラミング技術
→ 51 ページ

NC 旋盤加工技術
→ 51 ページ

フライス盤加工技術
→ 51 ページ



マシニングセンタ
プログラミング技術
→ 52 ページ

マシニングセンタ
加工技術
→ 52 ページ

材料利用

鉄鋼材料の
熱処理技術
→ 50 ページ

生産管理

生産現場に活かす
品質管理技法
→ 52 ページ

メカトロニクス設計

産業用ロボット
活用技術
→ 53 ページ



ロボットシミュ
レーション活用
技術
→ 53 ページ

測定

精密測定技術
→ 49 ページ

ひずみゲージによる応力計測技術
→ 50 ページ

電気・電子系コース受講マップ

ソフトウェア設計

タブレット端末向けクラウド対応システム構築技術
→ 54 ページ

軽量 Ruby による組み込みシステム開発技術
→ 54 ページ

マイコン制御

組み込み技術者のためのプログラミング (I/O 制御編)
→ 54 ページ

組み込み技術者のためのプログラミング (周辺制御編)
→ 55 ページ

組み込み技術者のためのプログラミング (Arduino 編)
→ 55 ページ

マイコン制御システム開発技術 (Arduino 編)
→ 56 ページ

組み込み技術者のためのプログラミング (Python 編)
→ 55 ページ

電子回路技術

基盤製作に係る鉛フリーはんだ付け技術
→ 56 ページ

シーケンス制御

有接点シーケンス制御の実践技術
→ 56 ページ

→

電動機のインバータ活用技術
→ 57 ページ

PLC プログラミング技術 (入出力命令編)
→ 57 ページ

→

PLC 制御の応用技術 (数値処理命令編)
→ 57 ページ

→

PLC によるタッチパネル活用技術
→ 58 ページ

電気設備工事

一般用電気工作物の施工技術 (設計編)
→ 58 ページ

→

一般用電気工作物の施工技術 (施工編)
→ 58 ページ

自家用電気工作物の施工技術
→ 59 ページ

CAD による電気設備の設計技術 (Jw_cad 編)
→ 59 ページ

通信設備技術

LAN 構築施工・評価技術
→ 59 ページ

製造現場における LAN 活用技術
→ 60 ページ

無線 LAN を用いたデータ伝送技術
→ 60 ページ

製造現場における LAN 活用技術 (TCP/IP 編)
→ 60 ページ

機械設計・ 機械製図		実践機械製図（公差・部品図編）		内容
コース番号	日程および訓練時間			
C0011	6/3(火)~6(金)		9:15 ~16:00 (24時間)	機械設計者の設計意図を正しく図面に反映させるために必要となる機械製図規格（JISB0001）とその関連規格（寸法公差、幾何公差、表面性状）の内容を解説と演習を通じて習得します。（CAD は使いません）
定員	10名	受講料	15,500円	
使用機器	製図道具			
持参品	筆記用具			
1. 製図の概要 2. JIS に準じた部品（寸法記入、幾何公差、表面性状） 3. 加工を考慮した寸法記入 4. 課題演習				

機械設計・ 機械製図		実践機械製図（機械要素編）		内容
コース番号	日程および訓練時間			
C0021	7/2(水)~4(金)		9:15 ~16:00 (18時間)	機械要素製図に関する種類や用途、製図における図示法等、総合的かつ実践的な知識を、実例や現物の機械要素部品を用いて習得します。
定員	10名	受講料	12,000円	
使用機器	製図道具、関数電卓			
持参品	筆記用具			
1. 機械製図上の注意事項 2. 機械要素設計製図（ねじ、軸、軸接手、軸受、歯車、Vプーリ、Vベルト） 3. 演習課題 ●対象者：「機械設計製図（公差・部品図編）」を受講された方、もしくは機械製図の基礎知識を有する方				

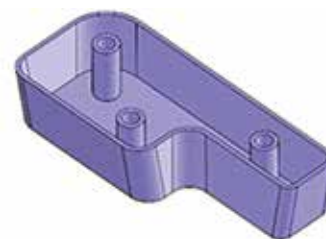
機械設計・ 機械製図		2次元 CAD による機械製図技術		内容
コース番号	日程および訓練時間			
C0031	6/24(火)~26(木)		9:15 ~17:00 (21時間)	機械設計／機械製図の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化（改善）に向けた構想段階から具体的加工の指示を出すための図面の作図を通して、CADを使用する場合の環境の構築、効果的かつ効率的な使用方法及びデータ管理方法について習得します。
定員	10名	受講料	16,500円	
使用機器	AutoCAD2020以降			
持参品	筆記用具			
1. 構想から図面への考え方 2. 機械製図の留意事項 3. 製図効率を向上させるための準備 4. 実践課題				

機械設計・
機械製図

設計に活かす 3次元 CAD ソリッドモデリング技術

コース番号	日程および訓練時間		内 容
C0041	5/27(火)~30(金)	9:15 ~16:00 (24時間)	製品設計業務における効率的な設計作業と設計の高付加価値化と生産性の向上をめざして、「製品（部品）機能＝フィーチャー」と捉えた活用方法、組立て設計と図面の活用及び設計検討項目の検証方法を習得します。
定 員	10名	受講料	21,500円
使用機器	SolidWorks2019以降		
持 参 品	筆記用具		

1. 設計とは
2. モデリング3カ条
3. 設計変更を考慮したモデリング
4. 図面作成



機械設計・
機械製図

設計に活かす 3次元 CAD アセンブリ技術

コース番号	日程および訓練時間		内 容
C0051	3/11(水)~13(金)	9:15 ~16:00 (18時間)	設計ツールの「製品（部品）機能＝フィーチャー」と捉えた構想設計段階における活用方法などを習得します。
定 員	10名	受講料	17,500円
使用機器	SolidWorks2019以降		
持 参 品	筆記用具		

1. 設計とは
2. アセンブリを活用した製品設計
3. 設計検証実習
4. 構想設計実習（アイデア、構想図、樹形図等）
5. 設計変更実習

●対象者：「設計に活かす 3次元 CAD ソリッドモデリング技術」を受講された方、または同等の知識をお持ちの方

測定

精密測定技術

NEW

コース番号	日程および訓練時間		内 容
C0061	4/17(木),18(金)	9:15 ~16:00 (12時間)	機械部品製造における機械加工及び測定・検査作業の技能高度化をめざして、製造現場で用いられる測定機器の最適な選択と能率的計測技能・技術を習得します。
定 員	10名	受講料	8,000円
使用機器	スケール、ノギス、外側マイクロメータ、デプスマイクロメータ		
持 参 品	筆記用具、関数電卓		

1. 測定・検査の概論
2. 各種測定器の原理と測定方法
3. 測定誤差について
4. 測定課題実習



NEW

測定

ひずみゲージによる応力計測技術

コース番号	日程および訓練時間		内 容
C0071	8/6(水)~8(金)	9:15 ~16:00 (18時間)	応力ひずみに関する基本的な事項について理解し、ひずみゲージやひずみ測定器を用いたひずみ（応力）やトルク測定等製造分野への利用技術を習得すると共に、実際に応力ひずみの測定を行い測定方法や留意事項について習得します。
定 員	10名	受 講 料	13,500円
使用機器	ひずみゲージ、共和電業ハンディードガー		
持 参 品	筆記用具、関数電卓		

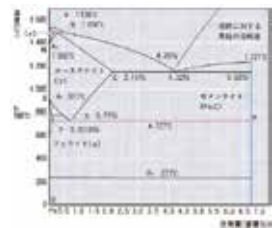
NEW

材料利用

鉄鋼材料の熱処理技術

コース番号	日程および訓練時間		内 容
C0081	11/5(水),6(木)	9:15 ~16:00 (12時間)	一般的な炭素鋼および特殊鋼の特性を理解し、鉄鋼材料の特性を発揮する熱処理方法について学び、各種鉄鋼材料の最適な選定や熱処理内容の検討方法を習得します。 実習では熱処理のポイント、焼入れ体験、試料の磨き方、組織観察、硬さ試験の方法を習得します。
定 員	10名	受 講 料	10,000円
使用機器	電気炉、硬さ試験機、デジタルスコープ		
持 参 品	筆記用具、作業服、作業帽、安全靴、関数電卓		

1. 熱処理既論
2. 各種鉄鋼材の熱処理
3. 表面硬化技術
4. 焼入れ体験
5. 組織観察と硬さ試験
6. まとめ

汎用
機械加工

旋盤加工技術

コース番号	日程および訓練時間		内 容
C0091	7/9(水)~11(金)	9:15 ~16:00 (18時間)	旋盤加工時の外径加工・外側テーパ加工において、加工条件の検討や図面で要求される部品形状（形状・寸法・粗さ等）を満たすため、関連知識の習得および実践的な旋盤技能を習得します。
定 員	10名	受 講 料	13,000円
使用機器	普通旋盤（TAL-460-800:TAKISAWA）、各種測定器		
持 参 品	筆記用具、作業服、作業帽、安全靴、安全メガネ		

1. 切削条件について
2. 外径加工・外側テーパ加工について
3. 加工部品の測定評価



課題例

汎用
機械加工

フライス盤加工技術

コース番号	日程および訓練時間		内容	
C0101	8/5(火)~7(木)		部品加工において要求される条件（形状、寸法、粗さ等）を満たすための加工方法の検討や段取り等について、課題加工実習を通して、実践的なフライス盤技能を習得します。 1. フライス盤における切削条件について 2. 六面体加工 3. 溝加工	
	9:15 ~16:00 (18時間)			
	定員	5名		受講料 25,000円
	使用機器	立形フライス盤 (2VB IWASHITA)、各種測定器		
持参品	筆記用具、作業服、作業帽、安全靴、安全メガネ			



NC
機械加工

NC 旋盤プログラミング技術

コース番号	日程および訓練時間		内容	
C0111	7/22(火), 23(水)		課題加工実習を通して、要求される条件（形状、寸法、粗さ等）を満たすための加工方法の検討やプログラミング、段取り等を習得します。 1. Gコードを使ったプログラム 2. 加工工程の考え方 3. プログラムの考え方 4. 課題演習 ※ C0121「NC旋盤加工技術」とのセット受講を推奨します。	
	9:15 ~16:00 (12時間)			
	定員	10名		受講料 9,500円
	使用機器	NC旋盤 (DMG 森精機 NLX2000) データ入力装置、シミュレーションソフト		
持参品	筆記用具、関数電卓 (電卓でも可)			

NC
機械加工

NC 旋盤加工技術

コース番号	日程および訓練時間		内容	
C0121	7/24(木), 25(金)		NC機械加工の生産性の向上をめざして、効率化、最適化(改善)に向けたテーマを持った加工課題実習を通じて、ツーリングや治具・取付具、各種工具等に関する知識、加工精度に影響する諸要因や各種加工のための段取り作業のポイント等、精度向上やサイクルタイム短縮等に役立つ技能・技術を習得します。 1. 段取り作業のポイント 2. プログラミング時間の短縮 3. 加工課題実習 4. 改善のための確認・評価 ※ C0111「NC旋盤プログラミング技術」とのセット受講を推奨します。	
	9:15 ~16:00 (12時間)			
	定員	10名		受講料 9,500円
	使用機器	NC旋盤 (DMG 森精機 NLX2000) データ入力装置、シミュレーションソフト		
持参品	筆記用具、作業服、作業帽、安全靴			



NC 機械加工

マシニングセンタプログラミング技術

コース番号	日程および訓練時間		内 容
C0131	10/21(火), 22(水)	9:15 ~16:00 (12時間)	課題加工実習を通して要求される（形状、寸法、粗さ等）を満たすための工具の選定、加工条件の算出、加工工程の検討やプログラミング作成手法等を習得します。 1. プログラミングのための基礎知識 2. 各種機能 3. 工具径・工具長補正 4. 固定サイクル 5. サブプログラム 6. 課題図面によるNCプログラミング演習 ※ C0141「マシニングセンタ加工技術」とのセット受講を推奨します。
定 員	10名	受 講 料	9,500円
使用機器	マシニングセンタ (OKUMA MB-46VA)、データ入力装置、シミュレーションソフト		
持 参 品	筆記用具、関数電卓（電卓でも可）		

NC 機械加工

マシニングセンタ加工技術

コース番号	日程および訓練時間		内 容
C0141	10/23(木), 24(金)	9:15 ~16:00 (12時間)	NC機械加工の生産性向上をめざして、効率化、最適化（改善）に向けた加工実習を通して、高精度・高能率技能・技術を習得します。 1. 段取り作業のポイント 2. プログラミング時間の短縮 3. 加工課題実習 4. 改善のための確認・評価 ※ C0131「マシニングセンタプログラミング技術」とのセット受講を推奨します。
定 員	10名	受 講 料	9,500円
使用機器	マシニングセンタ (OKUMA MB-46VA)、データ入力装置、シミュレーションソフト		
持 参 品	筆記用具、作業服、作業帽、安全靴、関数電卓		



生産管理

生産現場に活かす品質管理技法

NEW

コース番号	日程および訓練時間		内 容
C0151	8/4(月), 8/5(火)	9:15 ~16:00 (12時間)	生産現場における生産性の効率化・最適化をめざして、科学的管理手法や統計的手法を活用した品質管理の各種手法について習得します。 1. 品質管理とデータ 2. 統計管理に用いる代表的な統計量と正規分布について 3. QC 七つ道具とその活用事例 4. 抜取り検査について 5. 演習課題
定 員	10名	受 講 料	8,000円
使用機器	パソコン、表計算ソフト (Excel)		
持 参 品	筆記用具		

メカトロクス 設計

産業用ロボット活用技術

コース番号	日程および訓練時間		内 容		
C0161	11/12(水), 13(木)		生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化（改善）、安全性向上に向けたロボットプログラム実習を通して、産業用多関節ロボット技術を習得します。 1. ロボット概論 2. ロボット災害・危険性・安全対策 3. ロボットの教示実習 4. プログラム実習		
	9:15 ~16:00 (12時間)				
	定 員	10名		受 講 料	8,000円
	使用機器	産業用ロボット（三菱電機 RV-4F） ロボットシミュレーションソフト （RT Tool Box3）			
持 参 品	筆記用具				



メカトロクス 設計

ロボットシミュレーション活用技術

コース番号	日程および訓練時間		内 容		
C0171	12/10(水), 11(木)		産業用ロボットを用いた自動化による生産ラインの効率化・最適化をめざして、パソコン用ロボットシミュレーションソフトを使ったシステムの設計/運用に活用できる技法を習得します。 1. プログラム言語 2. ロボットシミュレーション実習 3. ロボットシミュレーション活用技術		
	9:15 ~16:00 (12時間)				
	定 員	10名		受 講 料	8,000円
	使用機器	ロボットシミュレーションソフト （RT ToolBox3） 産業用ロボット（三菱電機 RV-4F）			
持 参 品	筆記用具				



ソフトウェア
設計

タブレット端末向けクラウド対応システム構築技術

コース番号	日程および訓練時間		内容
C3011	8/2(土),3(日)	9:15 ~16:00 (12時間)	<p>企業内の機器の稼働状況をタブレット端末で確認できるシステムを構築します。 センサから得られた値はマイコンでクラウドに送信し、クラウドに送られたデータをタブレットで確認できます。マイコン向けのクラウドサービスの利用方法、クラウドサービスのタブレット端末での確認方法も習得できます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. システムの概要 2. クラウドアカウントの作成と確認 3. マイコンからクラウドへのデータ送信 4. クラウドデータの確認 5. システム構築実習
定員	10名	受講料	16,000円
使用機器	タブレット端末、NW 機器、マイコン、電子部品		
持参品	筆記用具		

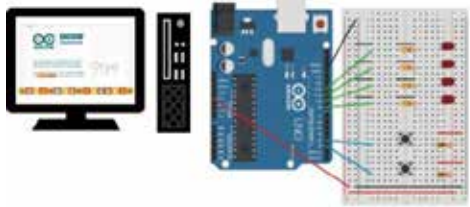
ソフトウェア
設計


軽量Rubyによる組込みシステム開発技術

コース番号	日程および訓練時間		内容
C3021	3/21(土),22(日)	9:15 ~16:00 (12時間)	<p>組込みシステム開発・設計の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化（改善）に向けた軽量Ruby言語によるプログラミング実習を通して、組込み分野におけるRuby言語の適用手法を習得します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Rubyの概要 2. mrubyによるシステム 開発手法 3. HW制御実習 4. システム開発
定員	10名	受講料	8,000円
使用機器	パソコン、ブレッドボード、ジャンパ、HW 部品 (LED、センサ等)		
持参品	筆記用具		

マイコン
制御組込み技術者のためのプログラミング
(I/O 制御編)

コース番号	日程および訓練時間		内容
C3031	1/29(木),30(金)	9:15 ~16:00 (12時間)	<p>ルネサス製マイコンRX62Nを用いたC言語プログラムの開発の実習を通して、マイコンシステムの構成や組込みプログラミングに必要な知識・技術を習得します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 開発環境 2. 組込み基礎理論 3. C言語基本文法 4. 汎用入出力制御
C3032	3/9(月),10(火)		
定員	10名	受講料	8,000円
使用機器	制御用ターゲットボード、開発用パソコン、開発ツール		
持参品	筆記用具		

マイコン制御		組込み技術者のためのプログラミング (Arduino 編)		内容	
コース番号	日程および訓練時間				
C3041	8/4(月), 5(火)		9:15 ~16:00 (12時間)	1. 開発環境 2. 開発技法とプログラミング ・組込み用途C言語の特徴、変数とメモリ ・フロー制御構文による標準I/O制御実習 ・配列とポインタ 3. まとめ *内容が変更になる場合があります。 	
	定員	10名	受講料		8,000円
	使用機器	パソコン、マイコンボード (写真と異なる場合があります)、電子部品			
	持参品	筆記用具			

マイコン制御		組込み技術者のためのプログラミング (Python 編)		内容	
コース番号	日程および訓練時間				
C3051	7/31(木), 8/1(金)		9:15 ~16:00 (12時間)	Python言語によるプログラム開発で必要となる基礎知識から実用的なプログラムを開発するために必要となる関連知識と技術について、実習を通じて習得します。 1. 開発環境の知識と構築 2. Python言語の特徴 3. 制御構文による標準I/O制御実習 4. 応用実習 (LED制御等) 	
	定員	10名	受講料		9,500円
	使用機器	マイコンボード、パソコン、開発環境			
	持参品	筆記用具			

マイコン制御		組込み技術者のためのプログラミング (周辺制御編)		内容	
コース番号	日程および訓練時間				
C3061	3/26(木), 27(金)		9:15 ~16:00 (12時間)	ルネサス製マイコンRX62Nを用いたC言語プログラムの開発の実習を通して、マイコンシステムの構成や組込みプログラミングに必要な知識・技術を習得します。 1. 開発環境 2. ハードウェアタイマ 3. 割り込み 4. AD変換 5. I2C通信 6. PWM制御	
	定員	10名	受講料		8,000円
	使用機器	制御用ターゲットボード、開発用パソコン、開発ツール			
	持参品	筆記用具			
備考	受講対象者：C3031/C3032「組込み技術者のためのプログラミング (I/O制御編)」を事前に受講した方				

マイコン 制御

マイコン制御システム開発技術（Arduino 編）

コース番号	日程および訓練時間		内 容		
C3071	9/24(水), 25(木)		1. 開発環境 2. 開発技法とプログラミング 3. 入出力回路 ・ SW、LED回路 4. 内蔵周辺回路 ・ タイマ ・ 割り込み 5. まとめ * 内容が変更になる場合があります。		
	定 員	10名		受講料	11,500円
	使用機器	パソコン、マイコンボード、電子部品			
	持 参 品	筆記用具			

電子回路 技術

基板製作に係る鉛フリーはんだ付け技術

NEW

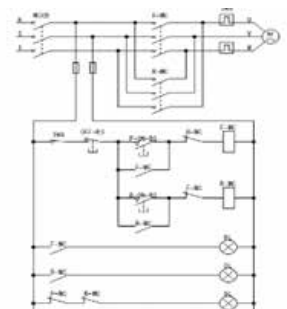
コース番号	日程および訓練時間		内 容		
C3081	3/12(木), 13(金)		基板製造・実装組立におけるはんだの鉛フリー化による問題解決と生産性の向上をめざして、JIS規格に基づいた鉛フリーはんだ付け作業の実践技術・管理技術を習得します。		
	定 員	10名		受講料	13,000円
	使用機器	温度コントローラ付はんだこて、実用基板・部品等、ルーペ、工具一式、その他			
	持 参 品	筆記用具			



シーケンス 制御

有接点シーケンス制御の実践技術

コース番号	日程および訓練時間		内 容		
C3091	5/15(木), 16(金)		表示灯やモータ制御で利用されるリレーシーケンス制御の基礎理論と、一般的に使用される制御回路の紹介、使用機器の説明、配線実習など通して、シーケンス制御の活用方法を習得します。		
	定 員	10名		受講料	8,000円
	使用機器	リレー、電磁接触器、タイマ、配線用遮断器、三相誘導電動機、押しボタンスイッチ、表示灯など			
	持 参 品	筆記用具			



シーケンス
制御

電動機のインバータ活用技術

コース番号	日程および訓練時間		内容
C3101	7/28(月), 29(火)		電動誘導機の回転原理と、その速度制御等に活用されるインバータの基本的な構造を理解し、パラメータ設定や基本的なインバータの制御方法を、実習を通して習得します。 1. インバータについて 2. インバータの操作方法（内部、外部、併用運転） 3. 誘導電動機の動作原理とインバータ（加減速時間、トルクブースト、回生制動、直流制動等） 4. インバータの保護機能 5. 制御機器（PLC）との配線 6. 各種パラメータ設定とPLCによるインバータ制御 7. パラメータによる各部品の寿命診断等
	9:15 ~16:00 (12時間)		
定員	10名	受講料	8,000円
使用機器	インバータ、誘導電動機、テスター放電抵抗器		
持参品	筆記用具		



シーケンス
制御

PLC プログラミング技術（入出力命令編）

コース番号	日程および訓練時間		内容
C3111	11/4(火), 5(水)		PLC を使用して機械の自動化を行うために必要な、ラダープログラムの基本的な手法を、実習を通じて学びます。 1. PLC の概要 2. 入出力ユニットの概要と配線方法 3. ラダーによる信号の出入力（自己保持回路、優先回路） 4. タイマ回路 5. カウンタ回路
	9:15 ~16:00 (12時間)		
定員	10名	受講料	8,000円
使用機器	GX Works2、パソコン、PLC（三菱製 Q シリーズ）、スイッチ、表示灯、デジタルスイッチ、7セグ LED、工具、その他		
持参品	筆記用具		



シーケンス
制御

PLC 制御の応用技術（数値処理命令編）

コース番号	日程および訓練時間		内容
C3121	11/11(火), 12(水)		PLC を使用して、機械の自動化を行うために必要なラダープログラムを、実習を通して学びます。数値データの取り扱い方法、四則演算命令、比較演算命令などを扱います。 1. リフレッシュ方式 2. SET、RST 命令 3. 数値データの扱い方 4. 比較演算命令 5. 算術演算命令
	9:15 ~16:00 (12時間)		
定員	10名	受講料	8,000円
使用機器	GX Works2、パソコン、PLC（三菱製 Q シリーズ）、スイッチ、表示灯、デジタルスイッチ、デジタル表示機		
持参品	筆記用具		



シーケンス 制御

PLCによるタッチパネル活用技術

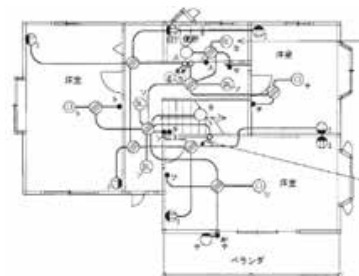
コース番号	日程および訓練時間		内容
C3131	11/18(火), 19(水)	9:15 ~16:00 (12時間)	シーケンス(PLC)制御設計の生産性の向上をめざして、タッチパネルを使用した学習を行います。スイッチやランプ、数値表示などの各種表示部品の使い方、ラダープログラムとの連携など、タッチパネルの活用方法を習得します。
定員	10名	受講料	8,000円
使用機器	GX Wrks2、GT Designer3、パソコン、PLC(三菱製Qシリーズ)スイッチ、表示器、デジタルスイッチ、デジタル表示器		
持参品	筆記用具		
			<ol style="list-style-type: none"> 1. タッチパネルの概要 2. PLCと表示画面のデバイス設定 3. 表示画面とPLCプログラム 4. 各種表示部品の使い方



電気設備 工事

一般用電気工作物の施工技術(設計編)

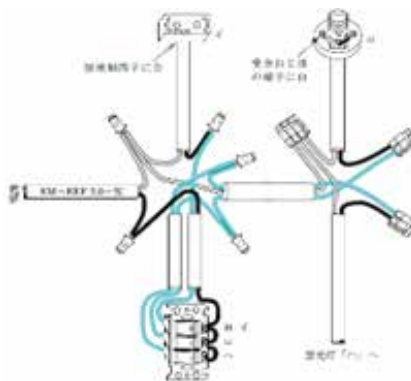
コース番号	日程および訓練時間		内容
C3141	5/8(木), 9(金)	9:15 ~16:00 (12時間)	電気工事士2種相当の知識の習得。 電気工事での器具・材料、配線設計、施工方法、検査、技術基準などを学び、施工の概要を習得します。
C3142	10/2(木), 3(金)		
定員	10名	受講料	9,500円
持参品	筆記用具		



電気設備 工事

一般用電気工作物の施工技術(施工編)

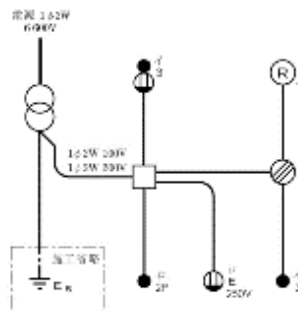
コース番号	日程および訓練時間		内容
C3151	7/2(水)~4(金)	9:15 ~16:00 (18時間)	電気工事士2種相当の実技の習得。 複線図の書き方、電線寸法の取り方、レセップ、タンブラスイッチなどの接続方法など、実習を通じて習得します。
C3152	11/26(水)~28(金)		
定員	10名	受講料	23,000円
使用機器	ランプレセプタクル、コンセント、タンブラスイッチ、リングスリーブ、差込形コネクタなどの電気材料		
持参品	ペンチ、ドライバ(プラス・マイナス)、電工ナイフ、スケール、ウォーターポンププライヤ、リングスリーブ用圧着工具、ケーブルストリッパ、筆記用具		



電気設備
工事

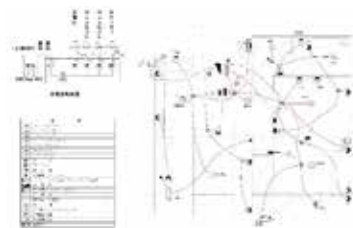
自家用電気工作物の施工技術

コース番号	日程および訓練時間		内容
C3161	6/17(火),18(水),19(木)	17:30 ~20:30 (18時間)	電気工事士1種相当の実技の習得。 第1種電気工事士の実技試験の予想問題を参考に、複線図の書き方、電線の寸法の取り方、各種器具の接続方法などを実習を通して習得します。
	6/24(火),25(水),26(木)		
定員	10名	受講料	24,000円
使用機器	ランプレセプタクル、コンセント、タンブラスイッチ、リングスリーブ、差込形コネクタなどの電気材料		
持参品	ペンチ、ドライバ（プラス・マイナス）、電工ナイフ、スケール、ウォーターポンププライヤ、リングスリーブ用圧着工具、ケーブルストリッパ、筆記用具		

電気設備
工事

CADによる電気設備の設計技術 (Jw_cad 編)

コース番号	日程および訓練時間		内容
C3171	8/5(火),6(水)	9:15 ~16:00 (12時間)	Jw_cadを利用して、電気に関する図面を書くために必要な各種コマンド、レイヤの操作方法を実習しながら学びます。 また、電気用図記号の作成、図形登録、屋内配線図の書き方を演習を通して学びます。 1. Jw_cadの概要、操作方法 2. 描画コマンド 3. レイヤ 4. 電気用図記号の作成、図形登録 5. 屋内配線図作成演習
定員	10名	受講料	8,000円
使用機器	パソコン、Jw_cad		
持参品	筆記用具		

通信設備
技術

LAN構築施工・評価技術

コース番号	日程および訓練時間		内容
C3181	8/7(木),8(金)	9:15 ~16:00 (12時間)	ネットワークの基本概念からネットワークの種類、LANの構成技術やネットワーク接続機器について学び、ツイストペアケーブル施工不良の事例や高品質での効率的な作成方法、測定方法を習得します。 1. LANの構成要素 2. OSI参照モデル・プロトコル 3. IPアドレスとDNS・DHCP 4. Cat5E、Cat6モジュラプラグの作成・評価 5. 試験項目の種類について (NEXT、FEXT、ACT 他) 6. パッチパネルの設置・施工
定員	10名	受講料	14,000円
使用機器	LAN工事用具一式、ケーブルテスタ (FLUKE製)、19インチラック、RJ-45コネクタ、圧着工具、情報コンセント、HUB、ノートPC		
持参品	筆記用具		

通信設備
技術

無線 LAN を用いたデータ伝送技術

コース番号	日程および訓練時間		内 容
C3191	7/31(木), 8/1(金)	9:15 ~16:00 (12時間)	公衆回線や家庭内でのモバイル端末の使用が増えています。本講座では無線 LAN ネットワークを構築するために必要な知識を、測定器を使用し障害波形を確認しながら実習を通じて習得します。
定 員	10 名	受 講 料	8,000 円
使用機器	無線 LAN アクセスポイント、ノート PC、LAN アナライザ		
持 参 品	筆記用具		
			1. 無線 LAN の種類 (IEEE802.11a/b/g/n) 2. スペクトラムアナライザによる OFDM 変調波長測定 3. 伝送実習 (実行スループット測定) 4. 近接チャネル干渉におけるスループット測定 5. フィルタリング、暗号方式 (WEP、TKIP、AES) 6. 障害電波発生におけるスループット測定

通信設備
技術

製造現場における LAN 活用技術

コース番号	日程および訓練時間		内 容
C3201	9/24(水), 25(木)	9:15 ~16:00 (12時間)	通信システム設計の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化 (改善) に向けた LAN のプロトコルに関する知識や LAN 機器の使用法を通じ、LAN 活用に関する技能を習得します。
定 員	10 名	受 講 料	11,000 円
使用機器	パソコン、LAN 関連機器		
持 参 品	筆記用具		
			1. ネットワーク概要 2. プロトコル概要と設定 3. ネットワーク機器の役割と設定 4. 障害検知 5. LAN 構築実習

NEW

通信設備
技術

製造現場における LAN 活用技術 (TCP/IP 編)

コース番号	日程および訓練時間		内 容
C3211	3/11(水), 12(木)	9:15 ~16:00 (12時間)	インターネット標準プロトコルである TCP/IP (IPv4) による LAN 設定・構築するために必要となる知識を習得します。
定 員	10 名	受 講 料	11,000 円
使用機器	PC、NW 機器		
持 参 品	筆記用具		
			1. ネットワークの概要 2. プロトコルの概要 3. ネットワーク機器の機能と役割 4. トラブルシュート 5. LAN 構築実習

オーダーメイドセミナーのご案内

能力開発セミナーガイドに掲載されたコースでは日程が合わない。

能力開発セミナーガイドのコース内容をもう少し我が社に合わせた内容にできないか。

講師や機器、場所が不足していて研修が行えない。

**などのお悩みがあれば、お気軽にご相談ください。
貴社にピッタリの従業員教育（オーダーメイドセミナー）をご提案させていただきます。**

オーダーメイドセミナー計画のポイント

- ①能力開発セミナーガイド（この冊子）でご案内しているコースは、日程を変更してオーダーメイドセミナーとして計画していただけます。また、貴社オリジナルの内容のコースもご相談に応じます。
- ②原則 10 名以上から相談可能です。（京都職業能力開発短期大学校は 5 名より相談可能です。）
- ③ 1 コースあたりの時間は 12 時間以上です。実施日・時間帯等はお客様の状況により設定できますので、ご相談ください。
- ④受講料（税込）は、教材及び当機構が定める諸経費を含めてご提示いたします。

※ご相談の内容・日程的にお受けできない場合がございますので、予めご了解ください。

ご相談から実施までの流れ

- ①コース設定や準備の観点から実施希望日の 2 か月前までにご相談ください。
- ②コース内容などについて相談をお受けし、実施が可能であれば、カリキュラムをご提案いたします。
- ③内容・実施日程・人数等が決まりましたら、経費（見積り）をご提示いたします。
- ④お客様のご了解をいただければ、実施となります。

例えばこんな場合……

精密・金型加工を行っている A 社では、時期によって各ラインの作業量に波があるため、従業員の業務量が偏る状態となっていました。

A 社は従業員の多能工化をめざし、10 名の従業員の方々にフライス・NC・旋盤加工を短期間で勉強してもらうため、ポリテクセンターに相談にいられました。

ポリテクセンター京都からは、次のコース（オーダーメイドセミナー）を提案させていただき、訓練を実施いたしました。

- ・実践フライス盤加工技術（3 日間）
- ・NC 技術者のための切削加工技術（4 日間）
- ・実践旋盤加工技術（3 日間）

京都職業能力開発短期大学校では、次のコース（オーダーメイドセミナー）を提案させていただき、実施いたしました。

- ・マイコン制御のシステム開発技術（4 日間）
- ・2 次元 CAD による機械設計技術（3 日間）
- ・切削加工におけるコストダウンの進め方（2 日間）
- ・精密測定技術（長さ測定編）（3 日間）
- ・旋盤加工技術（3 日間）
- ・機械設計のための総合力学（3 日間）

上記の事例に限らず、事業主団体様からのご依頼も多数お受けしております。受講人数が少ない場合、団体様経由によるお申し込みや複数企業様の共同企画によるお申し込みもお受けできます。お気軽にご相談ください。

施設利用のご案内

事業主団体等の方々が行う教育訓練・研修の場として、ポリテクセンター京都及び京都職業能力開発短期大学の施設をご利用いただけます。

■申し込み方法

1. 利用に向けた相談
事前にお電話にて、利用内容、利用希望日時をお伝え下さい。ご利用の可否をお伝えします。
なお、当センターの円滑な業務運営のため、**2か月以内で教室等に空きがある場合での利用**とさせていただきますので、予めご了承ください。
2. 利用申し込み
「施設設備使用申請書」に必要事項をご記入の上、郵送かメールにより**1か月前までに**ご提出ください。
※ご利用できる時間帯（原則）
9:00～17:00（業務運営に支障がない範囲に限ります。）
※ご利用いただける施設・機器に制限がありますので、事前にご確認ください。
※教材及び消耗品につきましては、各事業者で準備してください。
3. 使用承諾
「施設設備使用申請書」を受理後、ご利用いただける場合は使用承諾書と請求書を送付いたします。

■支払方法

ご利用施設からお客様あてに、「施設設備使用承諾通知書」（請求書）を送付いたしますので、期日までに銀行振込みにて使用料をお支払いください。振込み手数料はお客様でご負担ください。
なお、ご利用の場合は、使用料と併せて警備員費を請求いたします。

■変更・キャンセル

お申し込み内容を変更・キャンセルされる場合は、ご利用日の**14日前**までに必ずご連絡ください。14日前を過ぎてからの変更・キャンセルは、使用料金を全額お支払いいただきます。

■注意事項

当施設は事業主等の能力開発を支援する施設であることをご理解いただき、以下の事項についてご注意ください。

- 個人には、お貸しすることはできません。
- 営利を目的とした商品展示会、特定の商品を使用した研修会・説明会、物品の販売または宣伝勧誘その他これらに類する場合や施設貸与の趣旨に沿わない場合は、ご利用をお断りします。
- ご利用日、機器及び条件によっては、ご希望に添えない場合がございます。
- 安全性や施設・機器の保全の観点から、お貸しできる施設・機器に制限があります。
- ご利用にあたっての会場準備（当日の参加者からの問い合わせ対応や事前の機材や資料等の搬入等を含む）・受付・利用者への案内等は、全て申請者をご担当ください。
- ご利用時は、機械等の始業点検に加え、安全に留意してください。
- ご利用後は、清掃、後片付けを行い貸与前の状態に復帰してください。
- 施設設備への搬入物品は使用後速やかに撤去してください。
- 施設設備を損壊または紛失した場合にはその損害を賠償していただきます。
- 施設内での事故及びトラブル等について、当施設は一切責任を負いません。
- ご利用の注意事項をお守りいただけない場合、今後のご利用をお断りする場合があります。
- ご利用日に台風等の自然災害が予想される場合は、事前に申請者と相談の上、実施、延期、中止等の決定をします。
- 感染症対策のため、施設利用を中止させていただく場合があります。

お申し込み・お問い合わせはこちらまで

- **ポリテクセンター京都** 〒617-0843 京都府長岡京市友岡 1-2-1
TEL : 075-951-7398 (人材育成支援係) FAX : 075-951-7393 E-mail : kyoto-poly03@jeed.go.jp
- **京都職業能力開発短期大学校** 〒624-0912 京都府舞鶴市上安 1922
TEL : 0773-75-4341 (援助係) FAX : 0773-75-4378 E-mail : kyoto-college02@jeed.go.jp

離職者訓練受講生採用のお願い

～ポリテクセンター京都～

ポリテクセンター京都では、求職中の方を対象に地域企業様のニーズに即した職業訓練を実施しています。毎年約 600 人の修了生がそれぞれの分野の技能を身に付け、様々な業界で活躍しています。

貴社において新たな人材をお探しの際は、ぜひ離職者訓練受講生の採用をご検討ください。

「求職情報一覧表」の発行予定時期

●求人申込から採用までの流れ

1. 「求職情報一覧表」の取り寄せ

年に 12 回、訓練修了予定者のプロフィールを掲載した「求職情報一覧表」を発行しております。

「求職情報一覧表」の送付を希望される企業様は、お電話にて当センターまでお問い合わせください。

なお、「求職情報一覧表」は当センターのホームページにも掲載しております。

2. 求人票・指名求人用紙の提出

「求職情報一覧表」をご覧いただき、「面接してみたい」と思われる受講生がいましたら、求人票と指名求人用紙を FAX (075-951-7393) または郵送にて当センターまでお送りください。求人票、指名求人用紙は「求職情報一覧表」のものをご利用いただくか、ポリテクセンター京都のホームページよりダウンロードしてご利用ください。

なお、令和 7 年度の「求職情報一覧表」の発行予定時期は右表の通りです。

3. 面接の実施

当センターへお送りいただいた求人票を基に、応募の受諾を受講生に確認いたします。応募の意思が確認できましたら、貴社と当センター担当者間で面接日時・場所・必要書類等を調整させていただきます。

その後、受講生が履歴書・職務経歴書とともに「紹介状・採否通知書・返信用封筒」を貴社に提出します。採否決定後は当センターまで採否通知書をお送りいただくとともに、受講生へ直接採否のご連絡をいただきますようお願いいたします。

※応募の受諾のご連絡には、一週間程度のお時間をいただきます。

※既に就職先が決定している場合など、応募を辞退させていただく場合もございます。

	発送予定日	科名	修了予定日
①	令和 7 年 4 月中旬	溶接施工技術科 (企業実習付)	令和 7 年 6 月 30 日
		CAD 生産サービス科	
		生産管理実務科	
②	令和 7 年 5 月中旬	電気設備技術科 (企業実習付)	令和 7 年 7 月 25 日
		CAD・CAM エンジニア科	
		ビル設備サービス科	
③	令和 7 年 6 月中旬	IoT 機器開発科	令和 7 年 8 月 27 日
		電気設備技術科	
④	令和 7 年 7 月中旬	溶接施工技術科	令和 7 年 9 月 29 日
⑤	令和 7 年 8 月下旬	機械加工技術科 (企業実習付)	令和 7 年 10 月 24 日
		CAD・CAM エンジニア科	
		ビル設備サービス科	
		IT 生産サポート科	
⑥	令和 7 年 9 月中旬	FA システム技術科	令和 7 年 11 月 18 日
		生産管理サポート科	
⑦	令和 7 年 10 月上旬	溶接加工技術科 (企業実習付)	令和 7 年 12 月 23 日
		CAD 生産サービス科	
⑧	令和 7 年 11 月中旬	電気設備技術科 (企業実習付)	令和 8 年 1 月 28 日
		CAD・CAM エンジニア科	
		ビル設備サービス科	
⑨	令和 7 年 12 月中旬	IoT システム開発科	令和 8 年 2 月 24 日
		電気設備技術科	
⑩	令和 8 年 1 月中旬	溶接施工技術科	令和 8 年 3 月 27 日
⑪	令和 8 年 2 月中旬	機械加工技術科 (企業実習付)	令和 8 年 4 月 24 日
		CAD・CAM エンジニア科	
		ビル設備サービス科	
		IT 生産サポート科	
⑫	令和 8 年 3 月中旬	FA システム技術科	令和 8 年 5 月 28 日
		生産管理サポート科	

企業説明会のご案内

ポリテクセンター京都では、求人企業様に直接受講生にアピールしていただくため、求人企業様からのお申込みにより次の要領で求人企業説明会を実施しています。なお、会場の都合等によりご希望に添えないこともありますので、あらかじめご了承ください。

日 時	訓練を実施している日で、15:30から概ね1時間程度
場 所	当センター内会議室、または教室
申込方法	「企業説明会申込書」及び求人票と自己申告書をFAX（075-951-7373）でお送りください

企業実習の受入れ先の募集について

ポリテクセンター京都で実施している離職者訓練のうち、「機械加工技術科（企業実習付）」「溶接施工技術科（企業実習付）」「電気設備技術科（企業実習付）」の3コースでは、修了月の約1か月前に企業実習（約1か月）を実施しています。

当センターでは受講生がより実践的な知識・スキルを習得するために、企業実習を受入れてくださる企業様を募集しています。

- **企業実習受入れのメリット**.....
- ①当センターから企業様に、受入れに係る委託費をお支払いします
- ②受入れた受講生を、そのまま採用することができます

受講生の能力・人柄などを、約1か月間かけてじっくりと見極めていただくことができます。企業様と受講生の双方の合意があれば、実習期間中にそのまま採用していただくことも可能です。
※受入れた受講生を必ずしも採用していただく必要はありません。

求人のお申込み・企業実習についてのお問い合わせはこちらまで

■ ポリテクセンター京都

〒617-0843 京都府長岡京市友岡 1-2-1

TEL：075-951-7397（訓練支援係） FAX：075-951-7393

（企業説明会申込書及び求人票の様式はこちら）

https://www3.jeed.go.jp/kyoto/poly/biz/kyujin.html#name_kigyoo

生産性向上支援訓練のご案内

ポリテクセンター京都に設置している生産性向上人材育成支援センターでは、生産性向上に必要な知識等の習得を支援する生産性向上支援訓練を実施しています。

生産性向上支援訓練は、個別の中小企業等が抱える課題や人材育成ニーズに応じて訓練をコーディネートするオーダーコースと、地域の幅広い中小企業等のニーズに基づいて実施するオープン（公開型）コースをご利用いただけます。

このような課題に対応します

- ・生産性や品質管理について学びたい。
- ・業務プロセスを改善して効率性を高めたい。
- ・流通や物流の仕組みを学びたい。
- ・DX・RPA等の新技術を導入・活用したい…等々

分野・コース 生産・業務プロセスの改善
生産管理、品質保証・管理、流通・物流、バックオフィス

- ・従業員の仕事の効率化を促進したい。
- ・プロジェクトの管理手法を学びたい。
- ・中堅・ベテラン従業員の持つ技術やノウハウを後輩の従業員に継承させたい。…等々

分野・コース 横断的課題
組織マネジメント、生涯キャリア形成

- ・顧客の拡大や満足度の向上を図りたい。
- ・マーケティングや戦略について学びたい。
- ・新しい企画や開発について学びたい。…等々

分野・コース 売上げ増加
営業・販売、マーケティング、企画・価格、プロモーション

- ・データ処理の作業を効率化したい。
- ・データを業務改善に活用したい。
- ・集客につながるHPを作成したい。…等々

分野・コース IT業務改善
ネットワーク、データ活用、情報発信、倫理・セキュリティ

訓練の概要

あらゆる産業分野の生産性向上に**効果的なカリキュラム**をご用意しています。

- **対象者** 企業からの指示による申込みの方（個人受講不可）
- **訓練時間** 4～30時間
- **受講料** 2,200円～6,600円（1人あたり・税込）

全国実績（累計）

受講者数 **312,899人**
※'17～'23.9月末まで

受講者評価 **98.4%**
(業務への役立ち度) ※'17～'24.9月末まで

オーダーコース

訓練コースの決定 センター担当者が訪問し、相談内容を踏まえて課題やニーズに応じた訓練コースを提案します。

訓練内容をカスタマイズ

カリキュラムモデルを基に、事業主様が抱える**課題やニーズ**に応じた**訓練内容にオーダーメイドでカスタマイズ**します。

訓練受講

所定の期日までに受講料の支払い等の手続きを行い、訓練を受講してください。

※訓練会場は**自社の会議室等で実施**することができます。

※相談内容によっては、少人数からでも受講できるオープンコースのご利用を提案する場合があります。

オープンコース

1名からお申込み頂けます。

当センターホームページにて実施コースの詳細カリキュラムや募集状況を掲載しております。所定の受講申込書でお申し込み下さい。



生産性センター業務課

お問い合わせ

TEL : 075-951-7434 FAX : 075-951-7393

MAIL : kyoto-seisan@jeed.go.jp

HP : <https://www3.jeed.go.jp/kyoto/poly/biz/seisan/seisan.html>

さらなる **スキルアップ**

を目指すなら

高度 ポリテク センター



実習例



- ◆年間約700コースの豊富なカリキュラム
- ◆経験豊富な講師陣による実践的な研修内容

社員教育の一環として
ご利用ください！

人気コースの一例

詳しくは、公式サイトまたは当センターのコースガイドをご覧ください

- 金属材料の腐食対策
- カーボンニュートラルに向けた機械設計の進め方
- 電子回路から発生するノイズ対策技術
- AI・画像処理技術<集中育成コース>
- データサイエンス技術<集中育成コース>

お問合せ先 **043-296-2582(事業課)**

〒261-0014

所在地 **千葉県千葉市美浜区若葉3-1-2**

E-mail **kodo-poly02@jeed.go.jp**



公式サイト



X (旧Twitter)



YouTube



人材開発支援助成金のご案内

従業員に能力開発セミナーや生産性向上支援訓練を受講させた事業主の方は、人材開発支援助成金（旧キャリア形成促進助成金）を利用して、訓練経費や訓練期間中の賃金の一部等の助成を受けられる場合があります。※助成金の受給には、一定の要件を満たす必要があります。

制度の詳細や申請に係る相談及び書類の提出につきましては、事業所所在地を管轄する各ハローワーク（京都西陣所（園部出張所）・京都七条所、伏見所管内は助成金センター）の助成金担当窓口までお問い合わせください。

提出・問合せの受付は、平日の8:30～17:15です。（土日祝、年末年始を除く）

京都職業能力開発短期大学校



当校は厚生労働省所管の大学校として、地域産業の発展に貢献する役目を担っております。

企業在職者が、当校で2年間修学する制度

外部委託の長期 OFF-JT 研修制度で、短大卒同等の学歴が得られます。

**事業主推薦制度で
従業員のスキルアップをはかりませんか！**

京都職業能力開発短期大学校 の専門課程

- 生産機械技術科
- 電子情報技術科



人材開発支援 助成金制度

人材育成支援コースに該当

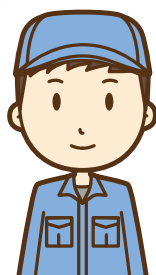
普通高校の新卒者に
出来るだけ費用を抑えて、
即戦化を見据えて
長めの研修をしたい！

将来の現場の責任者
とか、後継者や幹部
候補となるような人材
を育てたい！

こんな願いは
ございませんか？

若手社員に基礎から学ばせ、
単一で終わるセミナーではなく、
一貫性のある実りある長期
研修を受けさせたい。

高度な技術を身につけ
させて、社員の労働生産性
を向上させたい。



よくあるご質問と回答

Q1	申し込む場合の条件はありますか？	A1	各コースについての基本的知識を有する方は、お申し込みいただけます。ただし、コースによっては具体的な受講条件を設定している場合があります。
Q2	希望するコースが定員に達している場合には？	A2	「キャンセル待ち」としてお申し込みを受け付けることが可能です。この場合は、「受講申込書」を受取後に「キャンセル待ち通知書」をお送りいたします。受講が可能となった場合には、電話等でご連絡いたします。
Q3	申し込んだコースが中止になることはありますか？	A3	コース開始日の4週間前の時点で受講申込者が定員の5割に満たない場合や、感染症対策・天災等により日程変更あるいは中止となる場合があります。予めご了承ください。
Q4	申し込み後にキャンセルや受講者の変更はできますか？	A4	キャンセルや受講者変更については70ページ「受講者変更・キャンセル届」の提出をお願いします。電話ではお受けできません。また、 コース開始14日前（土日祝を含む）を過ぎてからのキャンセルは受講料を全額ご負担いただきます。
Q5	セミナー会場への案内は？	A5	【ポリテクセンター京都】セミナー当日に本館玄関掲示板で再度ご確認ください。受講者数等の都合により、教室が変更になる場合があります。 【京都職業能力開発短期大学校】受講票送付時に校内及び会場の地図を同封していますので、ご確認ください。
Q6	受講する際の服装・持ち物はどのようにすればよいのですか？	A6	開講前にお送りする受講票に作業服やご持参いただく物を記載していますので、それにそってご準備ください。
Q7	作業服が必要なコースですが、着替え等はできますか？	A7	【ポリテクセンター京都】作業服が必要なコースについては、更衣室をご用意しています。1F 訓練課窓口でお問い合わせください。 【京都職業能力開発短期大学校】作業着を着用するセミナーについては、着替えのできる部屋をご用意いたします。お電話等でお問い合わせください。
Q8	駐車場はありますか？	A8	駐車場がありますので、車でお越しいただくことも可能です。ただし、駐車場での事故等については、当方では責任を負いかねますのでご了承ください。（駐車可能台数に制限がありますので、できるだけ公共交通機関の利用、又は乗り合わせをお願いしています。）
Q9	食堂はありますか？	A9	【ポリテクセンター京都】食堂はございませんが、本館1F 訓練課の受付で、平日のお弁当販売の予約をAM9:00まで受け付けています。予約をされた方は、当日のお昼に訓練生ホールでお弁当の購入ができます。また、お弁当を持参された方についても、訓練生ホールで食事をしていただいています。 【京都職業能力開発短期大学校】平日は食堂がご利用いただけます。土日、祝日及び学校休校日（8月、3月）は利用できません。
Q10	宿泊施設はありますか？	A10	宿泊施設はありません。お手数ですが、近隣の宿泊施設を各自でご予約ください。
Q11	外国人対応はできますか？	A11	テキストは日本語のみで対応しているため、日本語を理解できる方であれば受講可能です。

令和7年度 能力開発セミナー受講申込書

ポリテクセンター京都（長岡京市） 京都職業能力開発短期大学校（舞鶴市）

FAX 075-951-7393

FAX 0773-75-4378

※該当する会場に☑をつけてFAX（郵送）してください。（実施会場ごとにお申込みください。）

次のセミナーへ訓練内容と受講要件（キャンセル期日）を了承の上、申し込みます。 令和 年 月 日

コース番号	コース名	コース開始日	ふりがな 受講者氏名	性別	生年月日 (西暦)	就業状況 ^{※1} (該当に☑)
		月 日			年 月 日	<input type="checkbox"/> 正社員 <input type="checkbox"/> 非正規雇用 <input type="checkbox"/> その他
		月 日			年 月 日	<input type="checkbox"/> 正社員 <input type="checkbox"/> 非正規雇用 <input type="checkbox"/> その他
		月 日			年 月 日	<input type="checkbox"/> 正社員 <input type="checkbox"/> 非正規雇用 <input type="checkbox"/> その他
		月 日			年 月 日	<input type="checkbox"/> 正社員 <input type="checkbox"/> 非正規雇用 <input type="checkbox"/> その他

※1 就業状況の非正規雇用とは、一般的にパート、アルバイト、契約社員などが該当しますが、様々な呼称があるため、貴社の判断で差し支えありません。

- お申し込みの際は、必ず能力開発セミナーガイドP1の「お申込み方法と受講のご案内」をお読みください。
- 応募者が少ない場合は、コースを中止させていただく場合があります。また、やむを得ず日程を変更する場合がありますのでご了承ください。
- コース開始日14日前（土日・祝日含む）を過ぎてからのキャンセルは受講料を全額ご負担いただきます。
- 受講者名の変更。お申込みの取消しは、お早めに「受講者変更・キャンセル届」（P70）にてご連絡ください。
- 納入された受講料を他のコースへ振り替える（流用）ことはできません。

下記該当する項目の□欄にし点チェックの上、ご記入をお願いします。※受講書類郵送先並びに請求先となります。

事業所・団体でのお申込みの方（会社からの指示による受講、受講料を会社へ請求されたい方へ）^{※2}

法人名											事業所名										
法人番号 ^{※3}											法人番号が無い場合は、以下に☑										
										<input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> 個人事業主											
所在地	〒										該当に☑印 <input type="checkbox"/> 農業・林業 <input type="checkbox"/> 漁業 <input type="checkbox"/> 鉱業、採石業、砂利採取業 <input type="checkbox"/> 建設業 <input type="checkbox"/> 製造業 <input type="checkbox"/> 電気・ガス・熱供給・水道業 <input type="checkbox"/> 情報通信業 <input type="checkbox"/> 運輸業、郵便業 <input type="checkbox"/> 卸売業、小売業 <input type="checkbox"/> 金融業、保険業 <input type="checkbox"/> 不動産業、物品賃貸業 <input type="checkbox"/> 学術研究、専門・技術サービス業 <input type="checkbox"/> 宿泊業、飲食サービス業 <input type="checkbox"/> 生活関連サービス業、娯楽業 <input type="checkbox"/> 教育、学習支援業 <input type="checkbox"/> 医療、福祉 <input type="checkbox"/> 複合サービス事業 <input type="checkbox"/> サービス業 <input type="checkbox"/> 公務 <input type="checkbox"/> 分類不能の産業										
TEL						FAX															
企業規模	<input type="checkbox"/> 1~29人 <input type="checkbox"/> 20~99人 <input type="checkbox"/> 100~299人 <input type="checkbox"/> 300~499人 <input type="checkbox"/> 500~999人 <input type="checkbox"/> 1000人以上																				
担当者名						所属部署						メール									

※2 能力開発セミナー終了後、事業所の担当者の方へアンケート調査のご協力をお願いしています。

※3 法人番号については国税庁ホームページにてご確認ください。「法人番号公表サイト」で検索できます。国税庁ホームページはこちら⇒



個人でのお申込みの方（個人での受講、授業料をご自宅へ請求されたい場合等）

住所	〒										TEL					
										メール						

- 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構は「個人情報の保護に関する法律」（平成15年法律第57号）を遵守し、保有個人情報を適切に管理し、個人の権利利益を保護いたします。
- ご記入いただいた個人情報については能力開発セミナーの受講に関する事務処理（連絡、修了証書の交付、修了台帳の整備）及び業務統計、当機構の能力開発セミナーや関連するセミナー・イベント等の案内に使用するものであり、それ以外に使用することはありません。
- 受講区分欄の「事業書・団体でのお申込みの方」を選択された方は、申込担当者様あてに関係書類を送付いたします。

お問い合わせ先

ポリテクセンター京都 人材育成支援係 TEL 075-951-7398 FAX 075-951-7393
 京都職業能力開発短期大学校 援助係 TEL 0773-75-4341 FAX 0773-75-4378

令和7年度 能力開発セミナー受講者変更・キャンセル届

ポリテクセンター京都 (長岡京市)

FAX 075-951-7393

京都職業能力開発短期大学校 (舞鶴市)

FAX 0773-75-4378

※該当する施設名にチェック☑をつけてください。(施設ごとに届けてください。)

在職者訓練担当 行

令和 年 月 日

● 申込担当者の連絡先をご記入ください。(個人でお申し込みの場合は日中ご連絡がとれる電話番号をご記入ください)

法人名		TEL	
申込担当者名	(部署名) (氏名)	FAX	

● 該当する届け出の☐にチェックをして、必要事項をご記入ください。

下記のコースに申し込みましたが、都合によりキャンセルいたします。

(注意) **コース開始 14 日前 (土日・祝祭日含む) を過ぎてからのキャンセルは受講料を全額ご負担いただきます。**

お電話でのご連絡後、必ずこの届を FAX で送付願います。

理由のないキャンセルを頻発された場合、受講者の公平性の観点から受講申し込みをお断りする場合があります。

納入された受講料を他のコースへ振り替える(流用)ことはできません。

コース番号	コース名	コース開始日	ふりがな 受講者氏名	受講料
		月 日	男・女	<input type="checkbox"/> 未振込 <input type="checkbox"/> 振込済 (振込日 月 日)
		月 日	男・女	<input type="checkbox"/> 未振込 <input type="checkbox"/> 振込済 (振込日 月 日)
		月 日	男・女	<input type="checkbox"/> 未振込 <input type="checkbox"/> 振込済 (振込日 月 日)

キャンセルの理由:

下記のとおり、受講者の変更をいたします。

コース番号	コース名	コース開始日	ふりがな 受講者氏名 (変更前)	ふりがな 受講者氏名 (変更後)	生年月日 (西暦)
		月 日	男・女	男・女	
		月 日	男・女	男・女	
		月 日	男・女	男・女	
		月 日	男・女	男・女	

ご記入いただいた情報は能力開発セミナーの受講に関する事務処理(受講者変更・キャンセル)に利用させていただきます。

お問い合わせ先

ポリテクセンター京都 人材育成支援係 TEL 075-951-7398 FAX 075-951-7393
京都職業能力開発短期大学校 援助係 TEL 0773-75-4341 FAX 0773-75-4378

お問い合わせ・交通機関のご案内

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構京都支部
京都職業能力開発促進センター
(愛称:ポリテクセンター京都)



〒617-0843 京都府長岡京市友岡1丁目2番1号

TEL 075-951-7398
FAX 075-951-7393

メール kyoto-poly03@jeed.go.jp

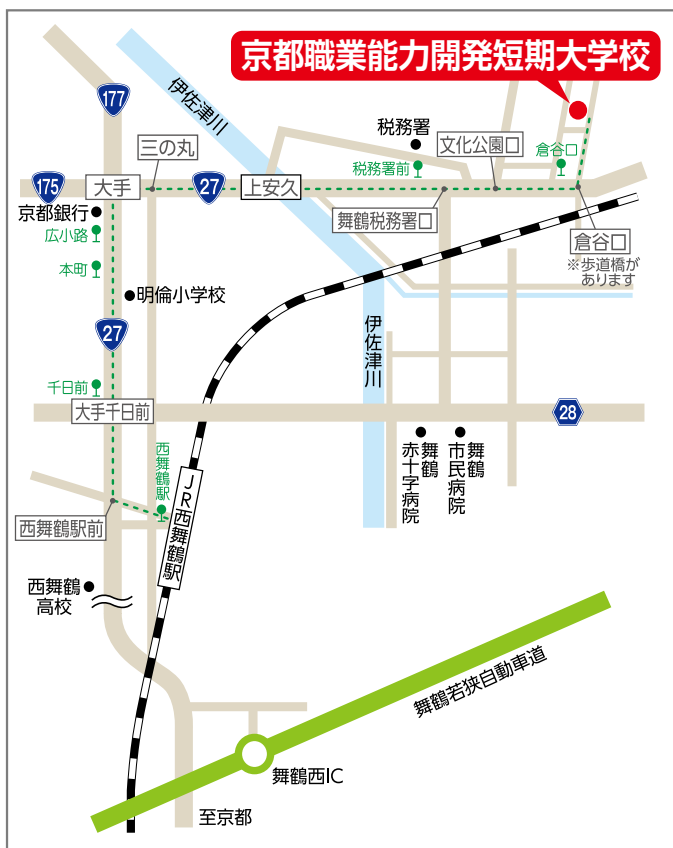
ホームページ <https://www3.jeed.go.jp/kyoto/poly/>

○利用交通機関

- 阪急電鉄「長岡天神」駅東口下車 南へ徒歩8分
- JR「長岡京」駅西口下車 西へ徒歩15分



独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構京都支部
京都職業能力開発短期大学校
(愛称:ポリテクカレッジ京都)



〒624-0912 京都府舞鶴市上安1922

TEL 0773-75-4341
FAX 0773-75-4378

メール kyoto-college02@jeed.go.jp

ホームページ <https://www3.jeed.go.jp/kyoto/college/>

○利用交通機関

- JR舞鶴線「西舞鶴」駅下車
京都交通バス(中舞鶴経由東舞鶴行)
「倉谷口」停留所下車 北へ徒歩2分

